

# 日本美術教育研究発表会第50回記念クロニクル

The Chronicle of the 50th Anniversary

公益社団法人 日本美術教育連合



## 50年を振り返り 10年を展望する

1967（昭和42）年11月24・25日に霞が関の国立教育会館にて第1回日本美術教育研究発表会が開催され、2016（平成28）年10月16日の東京家政大学にて第50回を迎えました。これを記念して、公益社団法人日本美術教育連合理事・監事・運営委員・局員が、「50年を振り返り10年を展望する」と題し各自の思いを600字に込めて綴り、理事・監事・各局ごとに50音順で記載しました。

## 研究紀要及び研究論集の記録

「クロニクル：Chronicle（英）」とは、編年史を意味します。1968（昭和43）年2月創刊の『日本美術教育研究紀要第1号』から、2016（平成28）年3月発行の『日本美術教育研究論集第49号』における1）研究発表会の主催・日時・会場、2）掲載論文名・著者名、3）役員名簿などの記録です。

なお、《日本美術教育研究発表会第50回記念クロニクル》は研究局提案を理事会・運営委員会で承認、担当の山田一美運営委員を中心に立川泰史・藤井康子両局員が過去の紀要・論集を基に記録を復元、役員全員で校正し編纂、ページデザインは天形健運営委員が担当しました。（山口喜雄理事・研究局長）



写真・上：第50回記念日本美術教育研究発表会2016での韓国2先生歓迎集会 下：第50回記念懇親会参加者

# 『日本美術教育研究発表会50周年記念クロニクル』

50年を振り返り10年を展望する

The Chronicle of the 50th Anniversary

## 教育の最前線から

大坪圭輔 OHTSUBO, Keisuke

公益社団法人日本美術教育連合理事長（国際局長兼務）

武蔵野美術大学

日本美術教育連合は、戦後様々な美術教育団体が次々に設立され、活発な研究活動が展開される中、昭和28（1953）年2月に、「色彩教育研究会」、「創造美育協会」、「芸術学会」、「日本ユネスコ美術教育連盟」、「教育美術振興会」、「美術教育学会」、「美育文化協会」、「日本教育大学協会第二部美術部門」を母体として設立されました。昭和40（1965）年にはInSEA国際会議（和訳は国際美術教育学会、当時はINSEAと表記）を開催し、我が国の美術教育団体を代表し、海外との調整を行うという設立当初の目的のひとつを果たしました。その後、昭和41（1966）年からは「日本美術教育研究発表会」を開催し、今回「第50回記念日本美術教育研究発表会」開催の運びとなりました。この間の詳細は、本論集に添付されている山田一美先生のご尽力によるクロニクルをご覧ください。また、これまでに研究発表会で発表された方々、これを運営し支援して頂いた皆様、論集の作成にご協力いただいた皆様に、深甚より御礼を申し上げます。本連合にご参集頂く方々は、幼小中高大学の先生方を始めとして、画塾や美術研究所の美術教育実践者や美術教育研究者、学生の皆さんなど実に多彩です。そして、美術教育研究発表会での発表内容も多岐にわたります。美術教育の最前線は造形活動が行われるその場です。資質能力の育成が教育であるとの理念が強く打ち出されようとするとき、その最前線から紡ぎだされる研究がますます重要になってきました。

## 過去と未来をつなぐ

西村德行 NISHIMURA, Tokuyuki

公益社団法人日本美術教育連合理事・事務局長代行

東京学芸大学

手元に1965年に開催された、第17回国際美術教育東京会議の記念集がある。「科学と美術教育」を主テーマに、8日間にわたり東京及び京都で開催された会議の様子が、詳細にまとめられている。記録によると、世界各国から約2000人の美術教育者が集まり、今日と明日における美術教育の理論と実際について真剣な討議が重ねられたとある。巻末の参加者名簿には、連合の諸先輩方のお名前も拝見できる。総ページ数122ページの記念集は、当時まだ生まれていなかった私に、会議の様子を伝えてくれるだけでなく、そこに関わった美術教育者の熱い思いを今に感じさせてくれる。

それからわずか50年、今の美術教育界にこの熱意があるのかと問われれば、否定こそしないが肯定もできない。しかしながら規模こそ違えど、私たちは現在、そしてこれからの美術教育のあり方について、日々語り合っている。その一つ一つの議論が、ささやかではあるが美術教育の過去と未来をつなぐものだと思っている。

50年を経て、私たちに当時の息吹を感じさせて下さる先達の労に敬意を表すと共に、このクロニクルを50年後に目にした人たちに、私たちがいま考えていることの断片だけでも伝わればと、願っている。

## 個人史／連合の会員になった頃

水島尚喜 MIZUSHIMA, Naoki

聖心女子大学

公益社団法人日本美術教育連合理事・事業局長

昭和60年、私が東京学芸大学附属竹早小学校図画工作科教員として勤務していた頃、ある方から連合へのお誘いを受けました。恩師である村内哲二先生に相談したところ、「美術教育の歴史ある組織であるから、そこで色々と勉強なさい。」と、お薦めの言葉を戴きました。

入会直後には、当時の役職「書記」を、さらに昭和62年から「理事会出版担当」を拝命し、連合ニュース等の発行にかかわる編集業務を担当させていただきました。その中で大学の授業や書籍でのみお名前を存じ上げていた先生方と面識を得、数多く学ばせて戴きました。当時、印象深かったのは、だらしない私のスケジュール管理を見兼ねて、表組みに基づいた時間管理術を丁寧にご教授下さった大和屋巖先生です。厳しい表情の中に、人を育てようとする優しさを併せ持っていらっしゃる方でした。さらに公益社団法人へ移行後、事業局長を拝命し、連続講座の運営等を通して様々な智慧を学ばせて戴いております。このように、浅学の身にとって連合での役員としての仕事は、大きな学びの場となってきました。

現在の「日本美術教育連合」をめぐる背景は、30数年前当時とは随分と異なっていますが、美術教育の分野における唯一の公益社団法人として、果たすべき役割や社会的機能は増大しています。私自身、定年退職まで丁度10年となる時間帯を迎えました。次世代への「バトンタッチ」が当面の自己課題となっています。

## 日本美術教育連合での31年間の深謝と諸課題

山口喜雄 YAMAGUCHI, Nobuo

公益社団法人日本美術教育連合理事・研究局長

元・宇都宮大学

筆者は教職42年で2016年3月末に定年退職、うち31年間を日本美術教育連合で活動できたことを深謝している。1985年当時の長谷喜久一理事長の推薦で入会した。翌年12月筑波大学学校教育部での第20回日本美術教育研究発表会にて初発表「美術教育にかかわるマクルーハンの考察」、1987年『日本美術教育研究紀要第20号』論文10頁掲載、10月に日本教育連合会昭和62年度表彰の栄誉を受けた。それが契機で横浜市中美研究会研究部長に任ぜられ、以後3件を発表し論文も掲載された。掲載年と題目は1988修学旅行と美術の学習に関する考察、1989ペーパーテストと美術教育、1992美術による自我形成の教育で、後の研究基盤になった。1993年筑波大学附属小学校に転勤、翌年連合委員、前記研究が評価され1997年宇都宮大学講師着任、後記業績で2003年教授に昇任した。1998年に教科書研究を開始し、翌年「戦後の美術科教科書における掲載作品の研究」を開始し2000年論文掲載、2016年3月まで17年連続掲載、他に共著論文3件がある。遡るが、2000年に連合紀要編集副委員長になり松岡忠雄・竹内博・大橋皓也・宮脇理・仲瀬律久の五先生から執筆支援のソフトな審査と研究論集の充実、会員増加を託された。2007年宮坂元裕理事長の依頼で研究局長、2012年の(公社)化以降は公選で理事・研究局長の任にある。先達から託された諸課題を展望し微力を尽くし、自身も研究の質的向上に努めたい。

## 教育の過渡期と美術教育の価値

結城孝雄 YUKI, Takao

公益社団法人日本美術教育連合理事・事務局長

東京家政大学

今日の世界は、多様な価値観と技術革新に満ち溢れている。この百年間、教育が目指してきた学習の概念も知識と技能の蓄積からその活用へと大きく変容しようとしている。「蓄積から活用」の言葉の変容は、革新的な学習観の変更を意味する。学習者が授業やテストで知っている・できるのではなく、文脈（暮らし）の中で活用できる状態にすることである。これは、学習プロセスの劇的な変更であり、教育関係者や国民そのものが学習に対する価値観の変容を迫られる事態なのであるが、果たしてそのことに気付いているのだろうか…。

いま世界は、教育に対する従来の「しがらみ」を持たない国々がこの教育の実現に向けて加速度的に移行し、PISAテスト等で大きな成果を上げている。目先の自国の成果でなく、不透明な未来の地球の為のマンパワーなのである。

このような教育の過渡期を俯瞰すれば、美術教育の果たす役割の重要性を再認識せざるを得ない。事実、今日の「教育先進国」では、美術教育を重視するカリキュラムなのである。それは、美術教育が常に文脈の中で作用する活動であり、人間形成の基盤である五感を通じた活動であり、コミュニケーションと思考を伴う活動であり、イノベーションを生み出す活動として社会に認められてるからである。私達公益社団法人は、このような美術教育の意義を改めて、広く社会に認知してもらうための責任を担っていると考える。これまでの50年、これからの50年その分岐点に今私達は立っている。

## この流れのなかにいる誇り

北澤俊之 KITAZAWA, Toshiyuki

公益社団法人日本美術教育連合監事

東洋大学

三年前、宮坂先生にお声をかけていただいたことをきっかけに、私は連合にお世話になることになりました。お役に立てずに心苦しい限りですが、役員会でお話を伺ったり、事務作業をしたり、ときにはその足で食事連れて行ってもらったりするなかで（これが一番の楽しみかもしれません…）、毎回多くのことを学ばせていただいております。当初、外からみた連合は大御所がひしめく恐れおおい団体でした。しかしびっくり。連合はとても自由で柔軟な組織でした。たしかに仕事には厳しい。でも大先輩たちは率先して私たちと一緒に封筒詰めをしてくださいますし、若い先生は新鮮なテーマをひっさげて堂々とワークショップの講師を務めます。

これまでわたしは本会の詳しい経緯も勉強せぬままにお世話になってきました。しかし、先の祝賀会でのスピーチを拝聴し、会に寄せる先輩方の熱い思いや、その果たしてきた役割の大きさをはっきりと理解することができました。情報網の整備や関係する組織団体の発展にともない、「まとめ役」や「窓口」としての求めは変化していくのかもしれませんが、それでも今回のように指導要領改定やInSEA世界大会といった要所要所で、実に絶妙なリーダーシップと気配りを発揮できるのは、やはりこれまでのベースがあってこそ、と考えます。こうした大きな流れのなかに寄せていただいている誇りを胸に、自分らしく貢献できる場を見出していければと思います。

## 「細やかな情緒」について

宮坂元裕 MIYASAKA, Motohiro  
 公益社団法人日本美術教育連合監事  
 横浜国立大学名誉教授

1965年8月、東京上野の文化会館を中心にInSEA東京大会が開催され、私は25歳で参加しました。それから25年後に役員にさせられ、最近の10年間は責任者になりました。そして、この会が公益社団法人になるためのお手伝いをしました。会員がまじめに努力し、様々な活動を50年間続けてきた結果だと思います。

さて、急激な社会の変化の中でこれからの10年間の展望することは困難です。しかし、教育という営みは世界の急激な変化に急いで対応するのではなく、ゆっくり対応した方がよいように思います。そんな目標の一つを提案します。美術教育でイメージとは形のあるもののこと、エモーションとは形のないもののことですが、その両方の資質・能力を守ることを目標とすることです。エモーションを仮に情緒と訳してみますと、これは「目に見えない喜怒哀楽の微妙な感情」となります。そして、情緒は、すべての事象に関わっているのですが、たいへん育てにくいものでもあります。特にモバイル・コンピューティングが発達すれば、美術教育は間違いなくその中に組み込まれていくでしょう。すると、人と人、人とモノが対峙する中で生まれるような「細やかな情緒」は育ちにくくなります。平凡な目標のようにも思えますが、子供たちが様々な自然や物に接したり、人々と接したりするなかで「細やかな情緒」が育まれる美術教育を目指すことがよいように思います。

## 一人一人のささやかな教育から始めなければならない

天形 健 AMAGATA, Ken  
 公益社団法人日本美術教育連合研究局運営委員  
 福島大学

昭和から平成への50年は、地球規模の環境問題、エネルギー問題、食料問題に加え、社会構造の基盤となる子どもの育ちという大きな課題を積み残してきた。それをつぶさに見ながら生きてきた者たちにとって、筆舌に尽くし難い変容と多様化の間でさまよう半世紀であったと言えるのではないだろうか。平和で高度成長を果たしたかのように見える社会は、一方で新たな病を生み、今後に大きな負の遺産を残す先送りの半世紀であったかもしれない。それは、未来を担う子どもたちがまもなく直面する現実であり、50年を生き私たちが、やがて評価されるべき事実であろう。

50年を経験するということは、50年とは、どれほどの長さであり、どれだけの挑戦が可能なのかを知ることである。そして、その倍数である100年、200年を洞察できるということでもある。社会とは、“常に危うさの中に人々が営み、いとも簡単に変化し、それでも時は一定して流れている”ところであることを私たちが実感した。

日本美術教育連合は、学校教育と子どもの成長支援から常に軸足を外すことはなかった。造形的な活動に内包される教育力を世界に発信しつづけることが使命である。どんな時にも、一人一人のささやかな教育から始めなければならないことを、50年が教えている。

## 実践と研究を支える礎として

小林貴史 KOBAYASHI, Takashi

公益社団法人日本美術教育連合研究局運営委員・研究論集編集委員会委員長  
東京造形大学

50年という長い歴史の中において、そのわずかな一部にかかわることからもあらためて人の集まりというものが人によってつくられているのだということを強く感じています。今日の社会において美術教育を核とする学会や研究会は、かつてのような大きなムーブメントとして人々の関心や要求にこたえるものとしてはなかなか得なくなっているかもしれません。何かしらの集まりがあれば、自然と人々が集うという状況ではないということです。

このような現実において、日本美術教育連合の組織としての運営は、そこに携わる方々の熱意と真摯な取り組みに支えられてきました。そして、このことは結果として会の魅力となり、そこに集う人たちが求めるものにこたえるものへとつながっているのだと思います。毎年の研究発表会では、さまざまな立場の方々の多岐に渡る発表を参加者によって共有することができています。そこには、個々の研究や実践の可能性を探っていくとともに、会に集う多くの人の手によって会そのものが成熟していく姿を見ることができます。

これからの10年、さまざまな事業を含めた本連合の取り組みから研究と実践の積み重ねがなされ、そこに新たな知見が見出されていくことを願っています。そして、そのことによって美術教育がこれからの社会をより豊かなものにしていく力となることを信じています。

## これまでと、これからのInSEA Japan

新関伸也 NIIZEKI, Shinya

公益社団法人日本美術教育連合研究局運営委員  
滋賀大学

50周年、誠にありがとうございます。本連合とお付き合いが始まるのは「第32回InSEA世界大会in大阪2008」が契機でした。その後、山口喜雄先生の斡旋により入会して、研究発表をするようになりました。今年から研究局運営委員となつての感想ですが、本連合は、まさに大会や投稿が美術教育の「道場」の役割を果たしてきたと言えるでしょう。黒帯でかつ師範級の先生方に、実践者や若手研究者が稽古をつけてもらい、鍛えられながら成長していく方法が特徴です。そのような意味で、他とは違った贅沢な指導を受けられる機会が設けられているのです。

しかし、これからの連合の在り方を考えるときに、マンパワーや若手の会員増において不安がないとは言えません。公益社団法人という立場や50年前の成立の原点を振り返るとき、他団体や学会とは、一線を画した独自性が求められています。個人的には、「InSEA Japan」として、美術教育の他学会や団体では、真似できない特色ある事業（連続セミナーや研究会）や、国際交流や発信ができる団体であって欲しいと思っています。そのためには、企画や研究誌の編集などが課題となってきます。さらに、東京中心に主催事業を行っていますが、関西や地方に行つて会員の掘り起こしなども今後の課題となってくるでしょう。いずれにしても、連合の戦略的な将来構想が必要とされています。

## 科学技術時代にどう向き合うか

山田一美 YAMADA, Kazumi

公益社団法人日本美術教育連合研究局運営委員

東京学芸大学

本連合のレガシーとして、まず『第17回国際美術教育会議記録』（1965）と『日本美術教育総鑑』（1966）があげられるでしょう。これらに通底するキーワードは「科学」「科学技術時代」であり、これに美術教育がどう向き合うかにありました。この用語は、1958年に学習指導要領に導入されソフト科学を連想させる「デザイン」の在り方に及びます。当時の未成熟なデザイン教育は、原理の混乱と葛藤の原因となりました。小池岩太郎は、『総鑑』の論文「現代の人間・環境とデザイン教育」の中でこう述べています。戦後にあつて、破壊され混乱する「古い調和」を立て直し、「新しい殻」の中で造形の働きを生かすには、「教育」が必要であり、根本的に「人間の分裂の危険に対し全的人間の働きを維持させようとするところにデザイン教育の積極的意味が見出されなければならぬ」と。一方、滝本正男は「デザイン教育批判」の中で、現状に厳しい目を向けます。「セルロイド板」を持ち回る「教材屋」の振る舞いを見ていたのです。今日、教育が教育科学の方向へシフトする中で、ビッグデータ解析が流行し、微分・積分とアルゴリズムの知識・技術が必須であるような主張もみられます。しかし、子どもたちの夢・想像の世界観はここからは育ちません。開発・革新・創造と、持続可能性や環境維持との対立課題を、私たちの未来も同様にテーマとしています。

## 実践と結ばれて更新する問いと未来

立川泰史 TACHIKAWA, Yasushi

公益社団法人日本美術教育連合研究局員

東京家政学院大学

日本美術教育連合の研究と理念が、ほぼ戦後の高度成長に重ねて社会に貢献されてきたことを知り、先達の実践者・研究者の方々への尊敬の念が絶えません。とくに近年では公益に資する鋭意に触れ、多く勉強の機会を賜りました。

折しも日本美術教育研究発表会が50周年を迎える記念的な年に、わたくし事ながら6回目の発表機会を賜りました。度々の質疑では、「子どもがどう変わるか」という実践との結びが問われることを覚悟するようになりました。実践と理念を近くに問う空気こそ、本発表会に色濃く漂う精気と感じているからです。この肌で感じる魂に洗われながら問題意識を高め、そこから生まれる試みがより多くの問いに引き継がれていく重みを実感するようになりました。

今後の美術教育は、しばらく「力」ということばと仲良く語られることが多いかもしれません。しかし、そこにも新たに求められるものと、受け継いでいく財産があるはずで、伝統と革新のバランスは何処でも問われる姿です。それだけに、感性教育の時代といわれる今、世界に開く傍らで、自国の風土を見つめ直すローカリティーも大切にしたい豊かさではないでしょうか。

今後も、本会にそのような実践的課題が問われ、議論されることが楽しみです。

## 私の美術教育研究の原点

藤井康子 FUJII, Yasuko

公益社団法人日本美術教育連合研究局員

大分大学

私の美術教育研究の原点は、二つあります。一つは幼少期の経験－身の回りの自然の中での遊び－です。友人と楽しい遊びを見つけたこと、四季折々の大地の恵みを味わう喜びを感じたこと、短い夏の草花の輝きや冬の日の樹氷の美しさに感動したこと等、命あるものの存在意義や価値を体感的に理解するための芸術的な経験の基盤になっています。

美術は、生と死といった人間の根源的な事柄を見つめる行為です。原点の二つ目は、中学校美術科教科書に掲載されていた芸術作品、中でも速水御舟作『炎舞（1925年）』との出会いです。これは、生命の儚さを連想させる作品であり、私はその写実と幻想的なイメージの世界とが融合した甘美な美しさに魅了され、恩師達のご指導と優しさに支えられながら、芸術表現と美術教育の奥深さを追求したい一心で研究の道に進みました。私は、美術教育の研究を行う上で、自ら創作活動を行うことも大切にしています。作品制作を通して自分を見つめる行為は、自分の人生そのものの意味を求めることであり、美術教育の根源である感性を豊かにすることに繋がると考えるからです。

私は、日本美術教育連合の先生方の知己を得て、他の学会にはない豊かな人間関係の中で、学校種を超えた先生方との繋がりを持つ事が出来ました。今後も一女性研究者として、海外の研究情報も豊富な連合の中で研究に精進すると共に、海外の研究者との交流も深められるよう努めたいと思います。

## 「造形教育セミナー」（平成9年～14年）の思い出

榎原弘二郎 ENOHARA, Kojiro

公益社団法人日本美術教育連合事務局運営委員

埼玉大学名誉教授

私にとってひとつの重要な思い出になっていることは、連合主催「造形教育セミナー」を5年間にわたって開催、担当したことである。

それは、教員養成の延長線上にあつてさらに、美術教育の実践的な研究を深めることを企図したものであり、また、継続的に行なっていくことを理事会として確認するものであった。

セミナーは、平成9年（1997）を第1期とし、平成13年（2001）まで、5期にわたって開催された。各期とも年度後半に5～6回行われた。会場は、筑波大学大塚校舎の4階にあった財団法人日本教育研究連合会の小会議室を利用させていただいた。参加者は、大学教員、学校教員、院生、学生などだった。セミナーは、最初に講師が講演し、参加者との質疑応答、議論へと展開する。そして、毎回2名の参加者が、レポートを書き提出した。このレポーターの指名は、私が行なってきた。また、毎回「造形教育セミナー便り」を発行、参加者に郵送した。カラーコピーによるプリントは、当時まだめづらしかったせいか、参加者を驚かせたようだった。最後に参加者から修了レポートを書いてもらった。セミナーでは、菓子をつまみ、お茶を飲みながら意見を述べ合い、その和気あいあいとした雰囲気は、楽しいものだった。

なお、第一期造形教育セミナーの内容が、冊子にまとめられている（日本美術教育連合発行「今日における人間形成の課題と造形教育—第1期造形教育セミナー—」）。

## より社会に開かれた連合へ

橋本光明 HASHIMOTO, Mitsuaki

公益社団法人日本美術教育連合事業局運営委員

長野県信濃美術館・東山魁夷館、信州大学名誉教授

東海道新幹線開業を前に車体の青と白のカラーリング決定に携われた森桂一先生は、まさに50年前の講義で美術教育の国際化を独特の語調で話されました。恩師横山岩男先生は、米国の美術教育カリキュラム論の講義の中で我が国の図工・美術科の学習内容の整理と系統性の必要性を穏やかに語られました。1970年の千葉大学の附属小勤務時に、森先生が加米国の教育関係者に私の遊び性を取り入れた造形活動（「造形的な遊び」導入は7年後）を紹介。横山先生は、一緒に津田沼駅前で児童作品研究所を開きました。共に語学にご堪能で、絵画と理論に優れた美術教育界筆頭格の森先生はINSEAやFEAの意義を説き、若手のエース横山先生はInSEA東京会議で活躍されました。両先生のご指導の下で美術教育の道を歩み始めて48年、連合42年の歳月が経ちました。

振り返ると、当時勢いのあった美術教育の幹は、予想した太さやしなやかさまでに育つことなく枝葉が重なり合い、在り方や方向性等が不鮮明になっています。美術館館長の立場から美術教育を見ると、文化行政と教育行政との距離感を痛感しつつも学校と美術館、芸術家、地域等の連携は着実に進んでいます。国際博物館会議（ICOM）もInSEA同様、3年ごとの開催であり2019年は京都開催です。この機にUNESCOは、美術館の多様性と社会的役割を要求しています。継続性の一方で新分野を編み出すより開かれた連合づくりが求められます。

## 二人の恩師に導かれて入会して

藤崎典子 FUJISAKI, Noriko

公益社団法人日本美術教育連合事業局運営委員

元東京都公立小・中学校教諭

私と本研究発表会との邂逅は、日仏共同研究 美術部門の研究代表である村上暁朗先生から、北沢昌代氏と同日発表するように勧められたことに始まります。第24回の発表会に於いて、『空間認識と幾何学教育についての日仏比較共同研究中間報告（3）A、-J.ポワセルの論文と児童画について-“彼らが描くにまかせよう”』を国立教育会館の大会場で、緊張して発表したことが昨日のこのように思い出されます。

その後、東京都教員研究生として筑波大学大学院芸術学研究科の宮脇理先生の元へ派遣されたことから教員と研究の二足のわらじを履き、第30回の発表会から子供の実態を中心に15件の発表を致しました。それと並行して、紀要編集委員会の一員として創刊号から第35号までをCD-ROM化する過程において研究紀要を通読できたことや、平成10年度のInSEAアジア地区会議東京大会にて発表したことなどを通して、多くを斯界の碩学から学ばせていただけたことは私の財産です。

今後は、「公益」社団法人となったことを鑑みて、会の対象を家庭・地域・社会へと拡大して、あまねく立場の人が社員として協働で活躍できるような発表会に発展していくよう期待しています。人が人として存在し続けられるように「人間形成としての美術教育」百年の計を、まず10年から始めましょう。

## 日本美術教育連合という温かさ

奥村高明 OKUMURA, Takaaki

公益社団法人日本美術教育連合事務局運営委員

聖徳大学

日本美術教育連合を一言で表現せよと言われたら「温かさだ」と答えます。その理由は、小中学校の教員をしていた頃にさかのぼります。

ある美術教育の学会でシンポジウムが行われ、学校教育現場のシンポジストの一人として登壇しました。山口先生も、大学関係者の一人として登壇されていました。シンポジウムが終わった後に、私は発表がうまくいかなかったので、沈んだ顔をしていました。そこに山口先生が来て「そういう自覚がいいね。うまくいったと思っている人は伸びないからね。」と声をかけてくれました。救われたような気持ちになりました。

その数年後、山口先生から日本教育連合の入会を勧められ、東京で行われた研究発表会に参加しました。つたない発表でしたが、宮坂先生や他の先生方から、いくつも意見をいただきました。その意見の一つ一つが温かかったことを覚えています。それから、ほぼ毎年参加を続けて、今は、運営委員を仰せつかっています。いつか自分の受けた「温かさ」を恩返ししたいと思っているのですが、中々ができません。申し訳なく思っています。

おそらく、美術教育が本来的に持つ子供たちへの「温かなまなざし」が、日本美術教育連合の基盤にあると感じています。それがこれまでの50年間だったとすれば、これから10年も同じように続いていけると願っています。

## 連合と私 — これからの使命 —

三澤一実 MISAWA, Kazumi

公益社団法人日本美術教育連合事務局運営委員

武蔵野美術大学

日本美術教育連合との出会いは1998年に埼玉県長期研修教員として埼玉大学の榎原先生の下で研修をさせていただいた時でした。当時、埼玉県の公立中学校美術科教員として働いていた私は連合の存在を全く知りませんでした。榎原先生に進められるまま、造形教育セミナーの事例発表や、連合企画のシンポジウムに出たりしていましたが、研修が終わると、また忙しい現場に戻り、連合への参加も次第に足が遠のいてしまいました。連合は未だに多くの現場教員にとって、実践研究を深めたり、研究者を目指したりしないかぎりあまり身近な存在ではないように思います。

今、美術教育が社会の中で大きくその役割を変えていこうとしています。止めようもない情報化、グローバル化という大きなうねりの中で、美術に期待される教育の力もかつての理論と実践では立ちゆかなくなってきました。子どもという可能性を秘めた原石はこれからもその本質を変えはしませんが、しかしその原石を磨き、未来の社会で輝かせるには、我々の挑戦的な研究が必要不可欠です。そのためにも連合はInSEAの日本窓口として日本の造形美術教育を世界に発信し、美術教育の牽引的存在となるべきでしょう、その結果、常に日本の実践は世界で創造的に批判される存在になるべきでしょう。そして、我々は実践の場から優れた実践者を掘り起こし世界に旅立たせる役割を持たなければならないと思うのです。

## 日本美術教育連合と私

直井 崇 NAOI, Takashi

公益社団法人日本美術教育連合事務局員

帝京平成大学

私が日本美術教育連合に入会させて頂いてから約7年の歳月が経ちました。入会させて頂きました年、私は第43回日本美術教育研究発表会に申し込みをさせて頂きました。単独での発表は初めてで、拙い発表でした。その発表に対し、宮坂元裕先生より丁寧に御指導を頂きました。また査読をして下さられた水島尚喜先生をはじめ、多くの先生方の御指導によって論文を書き上げることができました。

その後も日本美術教育連合の先生方からは、掛け替えのない御指導を頂いております。先生方から頂いた全ての御指導に深く感謝をしております。中でも私に大きく影響を与えて下さられたのが宮坂先生と水島先生です。

2013年、博士論文の研究に行き詰まっていた私は、宮坂先生に博士論文の御指導をお願いさせて頂きました。また水島先生に博士論文審査のお願いをさせて頂きました。宮坂先生も、水島先生も大変御多忙な中にも関わらず、手厚い御指導をして下さられました。

日本美術教育連合創設当時のことは文献などでしか分かりませんが、私が生まれる以前から、偉大な先生方が美術教育を心から愛され、連綿と続く美術教育を今へと繋いで来られたのだと思うと、憧憬の念を抱かずにはおられません。

これからの美術教育を築く道程を、日本美術教育連合の一員として関わらせて頂けますことに誇りを抱くと同時に、先生方の遠い背中について行けます様、精進致す所存です。

## 日本におけるInSEA国際会議と我が連合

仲瀬律久 NAKASE, Norihisa

公益社団法人日本美術教育連合国際局運営委員

聖徳大学

我が国では、過去50年間で3回の美術教育国際会議が開催されました。国際美術教育学会InSEA世界大会2回（1965 in 東京と2008 in 大阪）及びInSEAアジア地区会議（1998 in 東京）1回がそれに当たります。

上記の1965年夏に開催されたInSEA国際美術教育東京会議（『日本美術教育総監戦後編』・日本文教出版・1966参照）では、多種多様な教育団体を統一する目的で日本美術教育連合（InSEA JAPAN）が活躍しました。そして大会後、個人会員制になった後も連合の名は残され日本で唯一のInSEA加盟団体として研究活動が継続され現在に至っています。

1998年のInSEAアジア地区会議東京大会（美育文化誌・1998／8月／12月号参照）は、本連合と全国造形教育連盟が呼びかけ団体となり、一同が総力をあげて取り組んだ一大イベントでした。8月、4日間にわたり青山学院大学で開催された大会の参加者は当初の予想を大きく上回って546名（国内436名、国外25ヵ国及びその他の地域から110名）、公開授業参加の幼児童・保護者約200名を加えると計700名以上となり大きな反響を斯界に与え、我が連合の名を国内外に知らしめることになりました。

その後、本連合はInSEA世界会議in大阪（教育美術誌・2008/12月号参照）でも共催団体として名を連ねる等、国際的な行事や講演などの共催・後援を数多く行ってきた経緯があります。将来、本連合が主導する国際会議を再度国内で開催することができるかどうか、国際的に通用する団体としての活動が国内外から期待される所以です。

## 第32回 InSEA 世界大会 in 大阪2008を振り返って

福本 謹一 FUKUMOTO, Kinichi

公益社団法人日本美術教育連合国際局運営委員

兵庫教育大学理事・副学長

第32回 InSEA 世界大会2008 in 大阪（大会会長：平山郁夫、実行委員長：福本謹一）からすでに8年が経過し、来年には同じアジア（韓国・大邱市）でまた、世界大会が開かれる。2008年の世界大会は、本連合他、多くの学会等が結集して開催にこぎつけ、参加1054名、研究発表450件を得て成功裏に終わった。これもひとえに全国の美術教育関係者の支援の賜物である。

当時は、教育基本法の改正、学習指導要領の改訂など、教育改革の動きが活発化する中、美的感性を涵養し、伝統・文化の継承と再創造によって心の教育を豊かにすることこそが、真の学力形成と健全な教育再生につながる鍵だとの考えに立脚して日本の美術教育を世界に発信することを主眼とするものであった。

その成果としては、芸術文化のもつ社会的な教育力、コミュニケーション力を再評価し、世界的にアピールしたこと、芸術教育に関わる学術的なレベルでの交流だけでなく教育実践交流によって実践上の交流が活性化したこと、多様な伝統文化に関する対話を契機として、美術教育における国際理解教育の発展を促す可能性を検討できたことなどがあげられる。

今後も、共催団体の共同的な会議開催を継続化し、教育実践・研究の国際化対応に向けた方略を検討することや国際連携研究の活性化などにより、グローバルな視野から美術教育の未来像を描出して、その価値を各方面に訴えてしていくことが望まれる。

## 「連合」とわたしー歴史から未来へー

茂木 一司 MOGI, Kazuji

公益社団法人日本美術教育連合国際局運営委員

群馬大学

連合の思い出には、2つ大きなトピックスがあります。1つめは、「ルドルフ・シュタイナーと美術教育」（第20回、S61）と題する発表と、2つめは「構成教育の史的研究ーイギリスの基礎デザイン運動:ビクター・パスモアとリチャード・ハミルトンの教育」（第32回、H11）と題した、九州芸術工科大学（現九州大学）に提出した博士論文の特別発表です。後者は宮脇理先生にご配慮いただき実現したもので、美術教育の基礎を探る一連の研究として、バウハウスの基礎教育(Basic Design)の英国における影響関係を調べたものです。油絵をしたいと大学に入ったわたしが、右往左往しながら造形の基礎を探求する「構成」専攻を選択しました。そこでぶつかったのは、「基礎は専門になるのか？」という禅問答のような問題でした。自分の制作した作品はあくまで実験のプロセスにすぎず、展覧会などに出しにくいと思い込んでいて…今にして思えば何てマジメなんだと我ながら…？博士論文作成も、やはり連合の場でのR.Mason教授との出会いがきっかけです。Leicester (UK) の在外研究でD.エバンズ教授から、英国のBasic Design教育の資料がヨークシャー野外彫刻公園のNational Arts Education Archiveにあることをご教示いただき、いろいろなものがつながっていきました。さらに英国への留学は自己研鑽と同時に、世界の美術教育への扉を開いてくれました。出不精な自分がInSEAへ積極的に参加し、現在World Councilors (アジア地区委員) をさせていただいていることなど、多々ただ感謝ですm(\_\_)m

連合の自分史を書き連ねましたが、最後に50歳になった組織に対する希望について提言。今世界の美術教育は女性が回しています。H.リードが望んでいたかどうかは？ですが、女性の代表と男性のサポーターというのがInSEAの運営構造です。美術教育においてジェンダーという視点も必要ですし、LGBTに美術教育が関わることも重要です。アートの多様性が目にみえるかたちに連合も変容していったらいいと願っています。

## 連合と私の秘密

直江俊雄 NAOE, Toshio

公益社団法人日本美術教育連合国際局運営委員

筑波大学

2000年の研究発表会で、博士論文の概要を発表させていただきました。その数年前に茂木一司先生が博士論文を連合で発表されているのを拝聴し、自分も博士号を取得して、ここで発表しようとひそかに誓ったのです。実は1995年に博士論文を提出しないまま大学院を退学して大学に勤めていましたが、「7年以内に博士号を取りなさい。ただし決定的な内容で」という宮協理先生の教えを守ろうと心に期していました。2001年から理事として、筑波大学附属小学校での会議に通いました。40周年記念行事として創刊から第36号までの論集をCD-ROMに収める事業を竹内博先生、藤崎典子先生とともに完成させたのは2004年のことでした。同年、InSEAが学会誌を創刊し、編集委員として投稿募集の記事を連合ニュースに書きました。その後、私の力不足で学内外の業務をこなさきれず、2008年から2013年まで理事を辞退。2014年、齢50を過ぎて、そろそろまたご恩返しをしなければと、運営委員をお引き受けした次第です。私の連合は50年の内、まだ最近の15年くらいだけです。今後10年ですが、連合がInSEAの加盟団体として海外との窓口の役割をより実質的に担えるようにお手伝いしていくことと、幅広い方々がそれぞれの立場で美術教育研究に携われる連合という場の良さを大事に育てていく中に、自分も関わって行けたらいいなと思っています。

## 美術教育の創造的な関係づくりの場として

佐藤真帆 SATO, Maho

公益社団法人日本美術教育連合国際局員

千葉大学

日本美術教育研究発表会が設立してからの50年をふり返ることは、容易にできることではありませんが、この研究発表会では設立に関してこられた先生のお話（当初の発表会の様子など）を直接お聞きする機会がこれまでに多くありました。このように、この会を大切にしてくられた方々の誠実な思いをお聞きできるということは幸いであり、自分がそのつながりの中にあることがわかります。人と人、人から人へのつながりです。社会状況から美術教育に求められることが変化するなかで、何を受け継ぎ、創造していくのかということは、私たちひとりひとりが常に決断を迫られることです。国際的に多文化教育は21世紀に入ってますます美術教育研究の重要課題となっており、毎年多くの論文や実践が発表されています。他の学術領域と比較して規模の小さな美術教育は、日本国内にとどまらず海外での美術教育研究・実践・政策に目を向け、交流していくことが必要です。特に、今後はアジア諸国とのより良い共同の活動が鍵となるでしょう。「国際理解と美術教育の前進」という設立の趣旨は過去のものではなく、今現在、これからの10年においてもこの会の方向性を示すものです。日本美術教育研究発表会は、様々な場所や立場で美術教育に関わる人たち、理論と実践をつなぐという創造的な関係づくりへの貢献が期待できるのではないのでしょうか。

## 「ハブ」としての「連合」

林 耕史 HAYASHI, Koshi

公益社団法人日本美術教育連合事務局運営委員

群馬大学

日本には、美術教育に関わる学会・研究団体が多数存在しています。全国規模のものから、小さなものでは個人が設立したサークルまで多岐にわたり、多彩な活動を展開しています。それぞれが自負をもち、美術教育の発展充実のために尽力しているのです。その日本で、我が日本美術教育連合に求められる役割とはどんなものでしょうか。その一つは美術教育研究における「ハブ」になることだと、私は思います。なぜなら日本美術教育連合が、我が国の美術教育諸団体のなかで唯一認可された公益社団法人だからです。

研究は、我が日本美術教育連合も含みそれぞれの学会・団体が独自色を出しながら取り組み、成果をあげ、発信することで発展していきます。競争意識も建設的にはたらし、研究の先進性・独自性に提案の力が加わり、これまで数多くの研究が披瀝されてきたわけです。これらの成果は、美術教育の発展のために資するものです。即ち、幼児から青年まで、そして生涯教育の視点から全国民にとっての資源となることが求められます。この美術教育の果実を、広く多くの人々に送り届けることが、今後一層重要になります。その発信拠点の「ハブ」の役を担い、日本の美術教育をつなぎ広げる一翼になるのが、私たちの大切な使命だと思うのです。

これからの50年の展開が、美術教育の充実と美術研究諸団体との連携、連帯、そして文字通り「連合」を方向付ける活動に向かっていくことを願うものです。

## ー連合ニュースで会員をつなぐー

北川智久 KITAGAWA, Tomohisa

公益社団法人日本美術教育連合事務局運営委員

筑波大学附属小学校

2009年より連合ニュースの編集担当をしています。連合ニュースは、会員の皆様と連合を結ぶ重要な絆です。総会や講演会、フォーラム、鑑賞講座などの連絡、研究発表会の開催要項や時間割など、時間に追われる記事内容も多くもあります。また、会員の新規入会や継続のための会費納入などについての重要なお知らせを含みます。内輪の話ですが、お忙しい理事・運営委員の皆様には原稿の督促をするのは心苦しいと感じつつ、連合の会員全体のためにはと思い、心を鬼にして原稿を取り付けています。

現在、理事会の要請を受けて、ホームページ運営業務の改新についても着手しているところです。年間3回の連合ニュースではタイムリーにお伝えしにくいことも、ホームページでカバーできるようにしてまいります。その際は、会員との双方向のやりとりも可能にできればよいな、と願っています。ホームページの改新がなりましたら、どうぞ定期的に訪問していただくとありがたいです。そして、今後の連合の発展のために、ニュースやホームページをよりよくするためのご意見もお寄せいただきますようお願いいたします。

## 美術教育のプラットフォームへ

畑山未央 HATAYAMA, Mio

公益社団法人日本美術教育連合事務局員

東京家政大学

私が日本美術教育連合に入会したのは約2年前、大学院修了後に現職に就いて間もない時期でした。本来ならば、このように執筆させていただけることに恐縮の至りなのですが、入会したての若手の目線から日本美術教育連合への感懐と展望を述べたいと思います。

私が入会を希望した理由は、この団体が研究者のみならず、実践者、学生、そして一般に広く開かれていること、また、国際美術教育学会における我国の窓口として国内外の美術教育の促進と交流を目的としているからでした。

入会後は活動への参加に留まらず、運営に関わらせていただく機会もありました。第50回記念の研究発表会は本学での開催が叶い、当日運営など一部の役割も任せて下さったお陰で大変貴重な経験ができたこと幸甚の思いでおります。日本美術教育連合での活躍の場と多くの交流の機会を下さった前理事長の宮坂元裕先生、現理事長の大坪圭輔先生、山口喜雄先生、結城孝雄先生をはじめ、全ての先生方に心より感謝申し上げます。

益々国際化が進む未来を見据えた時、美術教育研究でも世界の動向への目配りが一層不可欠になる点においても、日本美術教育連合の存在価値が高まると思います。日本美術教育連合が美術教育における研究者・実践者のプラットフォーム、即ち様々な実践、成果、論考を交流し相互に高め合い発信していける場として生生発展していくことを展望し、私自身も研究と支援の両面から今後も邁進していく所存です。

日本美術教育連合研究発表会 [第1回～第49回：1967年（昭和42年）～2015年（平成27年）]  
日本美術教育研究紀要 [第1号～第36号：1968年（昭和43年）2月～2003年（平成15年）3月発行]  
日本美術教育研究論集 [第37号～49号：2004年（平成16年）～2016年（平成28年）3月発行]  
社団法人 日本美術教育連合役員名簿 [1967年度（昭和42年度）～2011年度（平成23年度）]  
公益社団法人 日本美術教育連合役員名簿 [2012年度（平成24年度）～2015年度（平成27年度）]

## 研究紀要及び研究論集の記録

### \*【第1回・第1号】1967年度（昭和42年度）\*

#### ■第1回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1967年（昭和42年）11月24日・25日 会場：国立教育会館

■日本美術教育研究紀要第1号 発行：1968年（昭和43年）2月

#### □目次

美術教育の方向…倉田三郎（INSEA会長）

研究紀要の発行によせて…岡田清一（理事長）

線描きの指導（心象表現）…青山外二（富山県滑川市立東が積小学校）

形体および色彩の指導における一考察…後藤義雄（千葉県八街中学校）

版画を通しての造形性と基礎能力の育成について…伊藤弥四夫（東京都世田谷区池尻小学校）

デザイン教育に於ける発生と展開…中島褐巳（神奈川県横須賀市常葉台中学校）

低学年デザイン学習の一考察…山下修（福岡市立千早小学校）

美術教育の問題点…真田卓治（堺市立錦西小学校）

造形教育と映像…相場秀夫（川崎市立住吉中学校）

子どもの絵の今日的課題…岡田清（美術教育評論家）

美術教育に於ける作品の価値…田辺彦太郎（岩手大学教授）

創造性を培う授業…横山文子（愛知県成岩中学校）

造形学習で育てる基礎的な能力とは何か…古市憲一（お茶の水女子大学文教育学部附属小学校）

創造性の心理…石塚喜三郎・馬場登（東京・武蔵野四小、東京・中根橋小）

想像力の解放の実験…野々目佳三（東京都吾嬬第四小学校）

デザイン指導実践上の諸問題…渋川轟（大阪市立高倉中学校教諭）

造形教育の革新…曾根靖雅（大阪成蹊女子短大）

形象化に関する基本的なとりくみと積極的なイメージ作りの教育について…浜本昌宏（東京北多摩郡狛江第一中学校教諭）

高等学校の工芸デザインの指導…鈴木寛男（東京都立大学附属高等学校）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1967～1968年度（昭和42年4月～昭和44年3月）

第1回1967年度（昭和42年度）

□理事長 倉田三郎（※INSEA会長／注：当時の標記）

□常任理事 熊本高工・岡田清一・鈴木清

□理事 松原郁二・林部伝七・藤沢典明・森 桂一・山形 寛・林 健造・武井勝雄・増田喜恵蔵・小関利雄・桑原 実・松田義之・長谷川信也・湯川尚文・川村浩章・稲村退三・阿部広司・伊東正明・朝岡寛一郎

**\*【第2回・第2号】1968年度（昭和43年度）\***

■第2回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1968年（昭和43年）11月8日・9日 会場：国立教育会館

■日本美術教育研究紀要第2号 発行：1969年（昭和44年）2月

□目次

激動の中の美術教育…倉田三郎（INSEA 会長）

研究紀要第2号に寄せて…岡田清一（理事長）

デッサン指導に於ける教育的考察…小林秀雄（東京学芸大学）

図画工作科の教育をみんなのものにするために…青柳すすむ（目黒区立五本木小学校）

中学校美術教育における指導内容の問題点…桜井俊夫（東京都渋谷区立鉢山中学校）

言語と創造性…鳥居昭美（美術教育を進める会）

高等学校美術に於ける心象表現…飯沼道子（武蔵野女子学院高等学）

美術教育の科学化…横山岩男（千葉大学）

美術教育にかける禅的思索…糟谷実（常葉女子短期大学）

創造性を培う授業…横山文子（愛知県半田市立成岩中学校）

創造性を育てる図工科の学習過程…末藤吉郎（福岡教育大附属久留米小学校）

中・高における表現教材の開発について…岡田博（大阪児童美術研究会会員／大阪教育大学附属天王寺中学校・大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎）

因子分析法による作品評定に関する研究…永井利昭（板橋区立志村第二小学校）

児童造形表現の発達段階…武井勝雄（美術教育評論家）

小学校における造形教育内容の構築…金井秀男（札幌市立東小学校）

■社団法人日本美術教育連合役員：1967～1968年度（昭和42年4月～昭和44年3月）

第2回1968年度（昭和43年度）□理事長 岡田清一

**\*【第3回・第3号】1969年度（昭和44年度）\***

■第3回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1969年（昭和44年）11月21日（金）・22日（土）会場：国立教育会館

■日本美術教育研究紀要第3号 発行：1970年（昭和45年）2月

□目次

第19回ニューヨーク世界会議の成功を祝して…倉田三郎（INSEA 会長第一副会長）

研究紀要第3号に寄せて…岡田清一（理事長）

想画作品評定に於ける観点と創造性の関連について…宮坂実（新宿区戸塚第一小学校）

生徒作品に表われる心理と能力…長谷川 望（大阪府堺市三国丘中学校）

創造的構成力を養うデザイン学習…田中久卿（北九州私立洞北中学校）

創造性を培う授業…横山文子（愛知県半田市立成岩中学校）

レタリング指導における私の試み…飯沼道子（武蔵野女子学院高等学校）

青年期美術教育の系統性…大勝恵一郎（東京都立小石川高校）

美術教育の基底にあるもの…市村緑郎（東京都立大泉高等学校）

“ガウディの建築”を見て…斎藤顕治（共立女子大学助教授）

国際美術教育会議におもう…稲村退三（明星大学）

第19回国際美術教育ニューヨーク会議に出席して…飯沼道子（武蔵野女子学院高等学校）

■社団法人日本美術教育連合役員：1969～1970年度（昭和44年4月～昭和46年3月）

**\*【第4回・第4号】1970年度（昭和45年度）\***

■第4回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1970年（昭和45年）11月2日（月） 会場：国立教育会館（東京・千代田区霞ヶ関3-2-2）

■日本美術教育研究紀要第4号 発行：1971年（昭和46年2月）

□目次

第19回INSEA総会など…倉田三郎（前INSEA会長）

第4回教育研究発表会に寄せて…岡田清一（理事長）

バルカンの僧院壁面について…倉田三郎（日本美術教育連合名誉会員）

表現力を伸すための授業過程の実践研究…中坪市郎（北海道江別市立大麻小学校）

「ものを創り出す」教育的意義…三上利秋（大阪保育学院）

形体をよび色彩の指導における一考察（その2）〔平面から立体へ〕…後藤義雄（千葉県八街町立八街中学校）

生徒の全面発達のために、よりよい評価の実現へ…清田雄司（桃山学院高校）

走馬燈の授業について…清田雄司（桃山学院高校）

高校生の造形教育…吉田漱（東京都立向ヶ丘高校）

スクリーン・プリンテング・プロセス授業について…夏嶋寛（美術科特別教育施設・帝国女子高等学校）

空間造形の本質と教育的意義…松上茂（鳥取大学教育学）

美術教育における「評価」のあり方をめぐって…横山岩男（千葉大学教育学部）

自由想画による表現力…間鍋武敷（大飯市立東淀中学校）

カール・G・ユングの精神構造と中西の児童画法論…中西良男（伊勢市私立養草寺保育園）

創造力を培う授業 構想表現における創造力の開発（絵画）…愛知県半田市立成岩中学校（横山文子）

子どもの版造形における描画との共通性とその独自性を求めて…岐阜大学教育学部付属・岐阜市立長良小学校（安田喜洋）

■社団法人日本美術教育連合役員：1969～1970年度（昭和44年4月～昭和46年3月）

第4回1970年度（昭和45年度）□理事長 岡田清一

**\*【第5回・第5号】1971年度（昭和46年度）\***

■第5回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1971年（昭和46年）12月26日（日）・27日（月）P.M. 1：00～5：00

会場：大阪市天王寺区石ヶ辻町38-1公立学校共済組合なにわ会館

■日本美術教育研究紀要第5号 発行：1972年（昭和47年）3月

□目次

日本美術教育関西大会に想う…岡田清一（理事長）

造形教育ライブラリの活動を…富田民治（芦屋大）

「ものを創り出す」教育的意義－創作人形劇を指導して－…三上利秋（大阪保育学院助教授）

彫塑学習における立体感の把握…稲垣達彌（東京都新宿区立津久戸小学校）

竜南祭…林輝久・内藤允（静岡市立竜南小学校）

創造活動を促すための指導法に関する実験的研究－図式化による発想の効果について－…斎藤清（東京都立教育研究所主任指導主事）・鎌田俊夫（東京都豊島区立高松小学校教諭）

創造性を培う授業 構想表現における創造力の開発（続2）…横山文子（愛知県半田市立成岩中学校）

表現力の成熟と自由想画…香川勇（日本児童画研究会会員）

高校生絵画のテーマと造型…香川忠（都立北高等学校）

細密写生の実践について 細密写生に対する態度…植村優（大阪淀川女子高等学校）

日本美術教育連合シンポジウム

私共は美術教育をこう考え、このように実践している…文責：藤沢典明（司会）・末藤吉郎（造形教育九州学会）・中西聡子（幼年美術の会）・香川勇（日本児童画研究会）・喜田康仁（創造美育協会）・西晃弘（和歌山県美育連盟）・新見俊昌（美術教育を進める会）・米倉正弘（造形教育センター）

■社団法人日本美術教育連合役員：1971～1972年度（昭和46年4月～昭和48年3月）

第5回1971年度（昭和46年度）理事長 岡田清一

### \*【第6回・第6号】1972年度（昭和47年度）\*

■第6回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1972年（昭和47年）12月27日（水）AM.10：00～PM.5：00

会場：福岡市博多区東中州5-6-20 明治生命ビル9階D室

■日本美術教育研究紀要第6号 発行：1973年（昭和48年）3月

目次

あいさつ…岡田清一（理事長）

第六回日本美術教育研究会に参加して…松本巖

第六回日本美術教育研究会に参加して…下瀬慎義

見ることに関した実験的研究（形体と視覚テクスチャー）…白石和也（九州産業大学）

子どもの見方感じ方を育て意欲的にとりくませる描画指導…清水武彦（彦根市立城西小学校）

創造的な想像を引き出す発想構想の研究…山下修（福岡市立若宮小学校）

必要性のある造形…西野範夫（東京都千代田区立番町小学校）

美術教育におけるフィールドワーク…吉井宏（福岡教育大学）

紙を使った造形活動－発想指導を主として…中川三夫（愛知県知多郡南知多町立大井小学校）

表現の質的高まりを求めて…渡辺隆雄（熊本市立小島小学校）

創造性を培う指導への一考察…横山文子（愛知県半田市立成岩中学校）

日本美術教育研究発表会に参加して…中尾義孝（福岡市立多々良中学校）

第21回国際美術教育会議に出席して…飯沼道子

■社団法人日本美術教育連合役員：1971～1972年度（昭和46年4月～昭和48年3月）

第6回1972年度（昭和47年度）理事長 岡田清一

### \*【第7回・第7号】1973年度（昭和48年度）\*

■第7回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1973年（昭和48年）12月26日（水）AM.10：00～PM.5：00

会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館

■日本美術教育研究紀要第7号 発行：1974年（昭和49年）3月

目次

あいさつ…岡田清一（理事長）

美術教育理論を実践から構築する（絵に表現された「性問題」をどう見抜くか。）…高原裕治（日本児童画研究会々員・大田区立出雲小学校）

クロッキー指導を基底においた美術教育（木版画指導の実践を中心にして）…森川利一（日本教育版画協会会員・日本美術教育連合会員・滋賀県伊香郡境岡中学校教諭）

美術を通しての（抑圧からの解放）教育実践によるエロスの形成…野々目佳三  
段ボール紙によるデザイン 工作指導…江見貢（岡山大学教育学部）  
再び二千万人の不幸について…尾崎正教（東京都太田区嶺町小学校教諭）  
版画教育についての一考察…伊藤弥四夫（世田谷区玉提小学校・日本教育版画協会）  
教室をはみだした造形教育…小関武明（東京都中央区立明石小学校）  
創造を培う授業（写生について）…横山文子（愛知県半田市立成岩中学校）  
「図画工作」における工芸的工作の効用と造形表現の学習と既成形の活用…救仁郷和一（関東短期大学初等  
教育科）  
新しい工芸教育の文献調査…大橋皓也（福島大学）  
戦前図画教育の文献調査…熊本高工（女子美術大学）  
□映画上映 土と炎 3巻  
■社団法人日本美術教育連合役員：1973～1974年度（昭和48年4月～昭和50年3月）  
第7回1973年度（昭和48年度）□理事長 岡田清一

### \*【第8回・第8号】1974年度（昭和49年度）\*

■8回研究発表会  
主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省  
日時：1974年（昭和49年）12月26日（木）午後1：00～5：00  
会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館  
■日本美術教育研究紀要第8号 発行：1975年（昭和50年）3月  
□目次  
あいさつ…岡田清一（理事長）  
母の日 こどもアンデパンダン展を実施して…吉田紀美子（逗子高等学校）  
記録映画（オープンクラスの一年間）で語る…高原裕治（東京出雲小学校）  
粘土の造形的、心理学的考察…樋口直容（東京都世田谷区立弦巻中学校）  
創造を培う授業（構想画の表現方法に於ける創造力の開発について）…横山文子（愛知成岩中学校）  
山形文庫調査報告…熊本高工（東京造形大学）  
□シンポジウム〔これからの美術教育をこう考える〕  
出席者：梅根悟（和光大学々長）・高山正喜久（東京教育大学）・箕田源二郎（美術評論家）・佐藤晃（都立  
白鷗高校）・藤沢典明（和光大学）、司会：岡田清一  
■社団法人日本美術教育連合役員：1973～1974年度（昭和48年4月～昭和50年3月）  
第8回1974年度（昭和49年度）□理事長 岡田清一

### \*【第9回・第9号】1975年度（昭和50年度）\*

■9回研究発表会  
主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省  
日時：1975年（昭和50年）12月26日（金）午後1：00～7：00  
会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館  
■日本美術教育研究紀要第9号 発行：1976年（昭和51年）3月  
□目次  
所感…岡田清一（理事長）  
学校に於ける版画教育について…坂戸武雄（千葉市立椿森中学校）  
造形教育を主体とした幼児教育の場における一試案…馬上知加子（武蔵野美術短期大学）  
粘土における表現の発達…黒坂暮子（世田谷区立上北沢小学校）

子供を生かす造形教育…高橋恒雄（新潟県見附市立見附小学校）

5才児の造形表現における性差について…皆本二三江（都立大田高等保母学院）

創造性を伸すために…堂本保（葛飾区梅田小学校）

絵画に於ける視覚的認識について…石黒功（台東区下谷中学校）

創造力を培う授業…横山文子（愛知県半田市立成岩中学校）

新設校での美術教育の実態…江口善之（大阪府立大東高等学校）

伝統について…永島吉太郎（前、新潟大）

「コンセプトフィルム利用による授業改善の試み」共同発表…宮脇 理（岡山大学）・内田義夫（埼玉県教育研究所）

■社団法人日本美術教育連合役員：1975～1976年度（昭和50年4月～昭和52年3月）

第9回1975年度（昭和50年度）□理事長 岡田清一

### \*【第10回・第10号】1976年度（昭和51年度）\*

■第10回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1976年（昭和51年）12月26日（日）AM10：00～PM5：00

会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館

■日本美術教育研究紀要第10号 発行：1977年（昭和52年）3月

□目次

所感…岡田清一（理事長）

創造を培う授業（彫塑教材について）…横山文子（愛知県東海市立加木屋中学校）

想像による表現事例と美術指導上の問題－その後の授業との関連を含めて－…前村晃（東京都稲城市立第二中学校）

三才児の造形と遊びについて…馬上知加子（武蔵野美術短期大学）

集団の中で芽ばえるもの－幼児における集団画への試み－…福井昭雄（文教大学）

美術教育実践上の研究…林倫子（大宮市立馬宮西小学校）

総合的工芸教育について…長谷川総一郎（富山大学）

造形科の使命と構造…古市憲一（お茶水女子大学附属小学校）

児童の絵画表現における色彩発達段階の追及とその指導…西村雅行（三鷹市立中原小学校）

造形主義美術教育の系譜…熊本高工（東京造形大学）

人間形成と造形教育…阿妻知幸（東京教育大）

□参会者からの感想文抜粋…松本勝弥（京都女子大学）・須藤健（福島県湯川中学）・松原郁二（関東短期大学）・川村浩章（立教大学）

■社団法人日本美術教育連合役員：1975～1976年度（昭和50年4月～昭和52年3月）

第10回1976年度（昭和51年度）□理事長 岡田清一

### \*【第11回・第11号】1977年度（昭和52年度）\*

■第11回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1977年（昭和52年）12月26日（月）AM10：00～PM5：00

会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館

■日本美術教育研究紀要第11号 発行：1978年（昭和53年）2月

□目次

これからの発表会のために…岡田清一（理事長）

造形教材構成の基礎的問題に関する考察…前村晃（東京都城市立稲城第二中学校）  
学級担任にもできる造形指導の方策について…救仁郷和一（関東短期大学）  
創造性を培う授業…横山文子（愛知県東海市立加木屋中学校）  
幼稚園に於ける絵画表現と評価について…吉田紀美子（福岡市私立周船寺幼稚園）  
一題材をいくつかの領域で実践…須藤健（会津若松市立第三中学校）  
美術教育における和紙の位置づけ…中村潤子（東京学芸大学）  
造形科の基本構造とその内容（その2）…古市憲一（お茶水女子大学附属小学校）  
巨大映像と明室映写…伊東正明（帝京大学）  
教育方法と児童の発想の傾向…林倫子（大宮市立馬宮西小学校）  
□参会者からの感想抜粋…新川昭一（文部省初中局教科調査官）・倉田三郎（東京学芸大学名誉教授）・松本勝弥（京都女子大学）

■社団法人日本美術教育連合役員：1977～1978年度（昭和52年4月～昭和54年3月）

■第11回1977年度（昭和52年度）□理事長 岡田清一

### \*【第12回・第12号】1978年度（昭和53年度）\*

■第12回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1978年（昭和53年）12月26日（水）午前10：00～午後4：00

会場：東京都千代田区九段南4-8-15 自動車会館

■日本美術教育研究紀要第11号 発行：1979年（昭和54年）2月

□目次

教育のよみがえりを期待…岡田清一（理事長）

造形美術科教育学の確立とその課題…前村晃（東京都稲城市稲城第二中学校）

造形教育に於ける探究構造とその実践例…末石幸雄（倉敷市立短期大学）

創造性を培う授業（絵画について）…横山文子（愛知県岡崎市立光ヶ丘女子高等学校）

幼児に於ける絵画表現と評価についてNo.2…吉田紀美子（福岡市私立周船寺幼稚園）

発達保障としての工作教育とその素材・道具の位置づけ…浜本昌宏（東京都稲城第七小学校）

身近な紙を使った造形その1 新聞紙…中村潤子（東京学芸大学及竹早教員養成所）

「造形科のめざすもの」－鑑賞活動の在り方－…古市憲一（お茶水女子大学附属小学校）

新しい色彩教育…森村惟一（杉野女子大学日本色彩総合研究所）

児童生徒の空間感の発達に関する一考察…大橋皓也（福島大学）

□参会者からの感想抜粋…樋口敏生（文部省初中局教科調査官）・北条聰（東京都教育庁指導主事）

・皆本二三江（武蔵野女子大学）

■社団法人日本美術教育連合役員：1977～1978年度（昭和52年4月～昭和54年3月）

■第12回1978年度（昭和53年度）□理事長 岡田清一

### \*【第13回・第13号】1979年度（昭和54年度）\*

■第13回研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1979年（昭和54年）12月26日（水）午前10：00～午後4：30

会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館

■日本美術教育研究紀要第13号 発行：1980年（昭和55年）2月

□目次

80年代教育の課題…岡田清一（理事長）

手づくりの制作の実践…須藤健（会津若松市若松第三中学校）  
身近かな紙を使った造形…中村潤子（東京学芸大学講師）  
美術教育実践上の研究…横山文子（愛知県光ヶ丘高等学校）  
造形科のめざすもの（その2）…古市憲一（お茶の水女子大学附属小学校）  
ハンガリー美術教育協会…飯沼道子（武蔵野女子学院）  
中学校「美術」学習指導要領の構成について…阿妻知幸（元東京教育大学）  
美術教育におけるアカデミズム…熊本高工（岡山大学）  
幼児の絵画指導に於ける問題点についての一考察…吉田紀美子（福岡市私立周船寺幼稚園）  
□参会者からの感想…松本勝弥（京都女子大学）  
■社団法人日本美術教育連合役員：1979～1980年度（昭和54年4月～昭和56年3月）  
第13回1979年度（昭和54年度）□理事長 岡田清一

### \*【第14回・第14号】1980年度（昭和55年度）\*

■第14回研究発表会  
主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省  
日時：1980年（昭和55年）12月26日（水）午前10：00～午後4：30  
会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館  
■日本美術教育研究紀要第14号 発行：1981年（昭和56年）3月  
□目次  
教育の荒廃から子どもを救う…岡田清一（理事長）  
幼児の心と表出…吉田紀美子（福岡市私立周船寺幼稚園）  
創造を培う授業の一端としてテーマ設定による作品を通して…横山文子（愛知県光ヶ丘高等学校）  
幼児の表現内容を豊かにする色彩の指導…太田昭雄（色彩教育研究所）  
女兒の造形教育に関する基礎研究報告 No.1…皆本二三江（武蔵野女子大、埼玉大）  
美術教育と文化遺産…熊本高工（岡山大学）  
高等学校芸術科（美術・工芸）学習指導要領〈阿妻試案〉…阿妻知幸（東京教育大学名誉教授）  
□参加者からの感想  
■社団法人日本美術教育連合役員：1979～1980年度（昭和54年4月～昭和56年3月）  
第14回1980年度（昭和55年度）□理事長 岡田清一

### \*【第15回・第15号】1981年度（昭和56年度）\*

■第15回研究発表会  
主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省  
日時：1981年（昭和56年）12月26日（土）午前10：00～午後4：30  
会場：東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館  
■日本美術教育研究紀要第15号 発行：1982年（昭和57年）2月  
□目次  
研究発表会に出席して…倉田三郎（前理事長）  
転換する美術教育…岡田清一（理事長）  
小学校低学年に於ける図画工作を中心とした合科的指導の試み…宮本朝子（東京都大田区立洗足池小学校）  
中学校の美術に於ける形成的評価について 副題 生徒の自己評価を生かして…永関和雄（東京都府中市立府中第六中学校）  
創造性を培う授業の一端として系統性をとった指導から…横山文子（愛知県光ヶ丘女子高等学校）  
思春期に於ける発達課題と美術教育…浜本昌宏（鳥取大学教育学部）

新しい紙（ベックス）をつかった劇場用紙芝居考…中村潤子（東京学芸大学及竹早教員養成所）  
遊びの記憶地図…吉井宏（福岡教育大学）  
女兒描画の表現特性に見る源氏物語絵巻との類似について…皆本二三江（武蔵野女子大学）  
美術教育と文化遺産その2…熊本高工（岡山大学教育学部）  
小学校図画工作科学習指導要領〈阿妻試案〉の構成について…阿妻知幸（大垣女子短期大学）

参加者からの感想

■社団法人日本美術教育連合役員：1981～1982年度（昭和56年4月～昭和58年3月）

第15回1981年度（昭和56年度）理事長 岡田清一

### \*【第16回・第16号】1982年度（昭和57年度）\*

■第16回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1982年（昭和57年）12月26日（日）午前10時～午後4時半

会場：私学会館（東京都千代田区九段北4-2-25）

■日本美術教育研究紀要第16号 発行：1983年（昭和58年）2月

目次

教育への課題…岡田清一（理事長）

美術教育研究会に参加して…高山正喜久（理事）

全上…齊藤清（理事）

幼児の人物画と図形模写能力の関連について…久山まさ子（関西学院大学大学院在学）

描画でのイメージは鑑賞指導によってどのようにかわるか…堺洋子（昭島市立拝島第三中学校）

工芸における材料とその技術の開発…須藤健（会津若松市立第三中学校）

ワンマール期の芸術教育の一形態G. ハルトラウブ、H.F.ガイストの芸術教育とその実践について…鈴木幹雄（美術教育研究家）

感覚教育の方法…吉井宏（福岡教育大学）

女子短大生の美術意匠について…坂并旭（江南女子短期大学）

美術教育の役割と内容と方法－日本の美術教薄の現状と比較してみる－…飯沼道子（武政野女子学院）

美術表現の教育的活用について…救仁郷和－（美術教育評論家）

三才前後に於ける造形教育への試み…吉田紀美子（ちどり保育園）

■社団法人日本美術教育連合役員：1981～1982年度（昭和56年4月～昭和58年3月）

第16回1982年度（昭和57年度）

理事長 岡田清一

理事 高山正喜久・齊藤清・そのほか不詳

### \*【第17回・第17号】1983年度（昭和58年度）\*

■第17回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1983年（昭和58年）12月26日（月）午前10時より午後4時30分

会場：自動車会館（東京都千代田区九段南4丁目8番）

■日本美術教育研究紀要第17号 発行：1984年（昭和59年）2月

目次

転換を迫られる教育…岡田清一（理事長）

現場と研究者の交流－第17回研究発表会を聞いて－…熊本高工（上越教育大学教授）

幼児の表出と表現のはざま期に於ける内容について…吉田紀美子（周船寺幼稚園）

工芸における集団制作の実践…須藤健（会津若松市立第三中学校）  
子どもの発達と表現の特性…堂本保（東京都葛飾区末広小学校）  
図画工作科における自己評価の教育的機能について…宮本朝子（東京都大田区立洗足池小学校）  
「造形を主体とした教育における一試案」（3才～12才までの実践を通して）…馬上知加子（武蔵野美術短期大学）  
血液型に見られる色彩の嗜好性について…白土光夫（九州女子大学助教授）  
A・リヒトヴァルクの芸術作品鑑賞指導…岡本定男（大東文化大学）  
現在西ドイツに於ける、美術教育の学習理論構築の試みについて－W・レーグラの論文「美的教育と学習理論」を手がかりとして－…鈴木幹雄（広島大学）  
造形性を育てる指導のあり方（主として内容の明確化とカリキュラムの構成から）…古田洋司（新潟県小千谷市立小栗山小学校）  
研究発表会に参加して…仲瀬律久（都立小石川高等学校）  
研究発表会に参加して…松本勝彌（京都女子大学）  
■社団法人日本美術教育連合役員：1983～1984年度（昭和58年4月～昭和60年3月）  
第17回1983年度（昭和58年度）□理事長 岡田清一

**\*【第18回・第18号】1984年度（昭和59年度）\***

■第18回日本美術教育研究発表会  
主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省  
日時：1984年（昭和59年）12月26日（水）午前9時より午後5時  
会場：国立教育会館（千代田区霞ヶ関3-2-3）  
■日本美術教育研究紀要第18号 発行：1985年（昭和60年）3月  
□目次  
「臨教審」の答申に期待する…岡田清一（理事長）  
美術教育研究発表会に参加して…川村喜之（京都市立芸術大学）  
「描画表現の幼・小比較研究 励きに対するストラテジーを中心として…久山まさ子（箕面学院保育専門学校）  
イメージ化による授業の創造（イメージと自己評価能力）…親跡峻（上越教育大学附属中学校）  
見つけ出す目を持ち、豊かに表現する図工教育…伊井光子（藤枝市藤岡小学校）  
個を生かす造形学習の指導法の研究…竹田正彦（福島市立福島第一小学校）  
美術教師研究…井上正作（福岡教育大学）  
材料体験の重要性を考える－土からやきものへ－…松本百合子（我孫子市我孫子第一小学校）  
美術学習に於ける表現と鑑賞について…長能寿恵子（尾道市立向東中学校）  
美術教育の実践研究…村上腸通（武蔵野美術大学）  
小学校造形科における基本の内容とその重要性…古市憲一（お茶の水女子大附属小学校）  
創造性開発の視点に立つ教材開発とその指導…服部鋼資（筑波大学附属小学校）  
21世紀を担う子どもの育成と環境の創造…石塚喜三郎（武蔵野市千川小学校）  
日本美術教育研究発表会に参加して思うこと…末武芳一（台東区立立谷中小学校）  
美術教育研究発表会に参加して…中村亨（京浜女子大学）  
■社団法人日本美術教育連合役員：1983～1984年度（昭和58年4月～昭和60年3月）  
第18回1984年度（昭和59年度）□理事長 岡田清一

**\*【第19回・第19号】1985年度（昭和60年度）\***

■第19回日本美術教育研究発表会  
主催：財団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1985年（昭和60年）12月26日（木）午前9時より午後5時

会場：自動車会館（千代田区九段南4丁目8番地）

■日本美術教育研究紀要第19号 発行：1986年（昭和61年）3月

□目次

「臨教審」の答申に期待する…岡田清一（理事長）

美術教育の転換期が見える…宮脇理（筑波大学）

遊びの過程－（造形遊び）の可能性について－…横出正紀（筑波大学大学院）

「音と映像－マルチ・メディアによる造形表現についての考察」…水島尚喜（東京学芸大学附属竹早小学校）

教育工学の面からの授業改造の試み…橋本光明（筑波大学附属小学校）

造形教育におけるマイコン活用…宮本朝子（東京都大田区立清水窪小学校）

集団制作による手づくりの実践…須藤健（会津若松市立第三中学校）

今日の思春期における美術教育の課題…森本篤志（東京都北区立北中学校）

若者達の生活観（ポップ・ライフ観）と、美術教育の新しい課題…岡田匡史（筑波大学附属高等学校）

新しい造形学習の場を求めて〈学校教育と社会教育の連携〉…五十嵐勲（神奈川県立藤沢北高等学校）

「図画工作料の基礎・基本」への提言－1－（立体表現から）…松本勝彌（京都女子大学）

血液型に見られる色彩の嗜好性について（Part II）…白土光夫（九州女子大学）

素材と語り合う子どもたち…大和田正人（下館市下館小学校）

造形美術教育における〈発達〉概念の検討…松本健義（上越教育大学大学院）

よりよい研究発表会であることを願って…古田洋司（新潟県美術博物館）

研究発表会に参加して…長南光男（千葉大学）

■社団法人日本美術教育連合役員：1985～1986年度（昭和60年4月～昭和62年3月）

第19回1985年度（昭和60年度）□理事長 岡田清一

### \*【第20回・第20号】1986年度（昭和61年度）\*

■第20回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1986年（昭和61年）12月26日（金）

場所：筑波大学学校教育大塚E館（東京都文京区大塚3丁目29-1）

■日本美術教育研究紀要第20号 発行：1987年（昭和62年）3月

□目次

教育改革に求める課題…岡田清一（理事長）

研究と実践の統合を願って…大橋皓也（上越教育大学教授）

写生におけるとりくみについて…藤井恵子（三鷹市立第四中学校）

描画活動における内的過程の考察…栗田真司（筑波大学大学院博士課程）

美術教育における「自然」概念の変遷…赤木里香子（筑波大学大学院博士課程）

幼児画に見られる指示的思考の芽生え…工藤不二男（画家）

再び既成形の活用について…救仁郷和一（元関東短期大学教授）

図画工作科の基礎・基本への提言…松本勝彌（京都女子大学同短期大学助教授）

美術教育にかかわるマクルーハンの考察…山口喜雄（横浜市立洋光台第一中学校）

絵画作品評定の観点の研究（その1）…飯塚久男（隅田区立吾嬬第三中学校）

美術教育における質的思考と知的発達について…前村晃（大乘淑徳学園短大部）

「ノドルフ・シュタイナーと美術教育」…茂木一司（鹿児島大学教育学部助教授）

豊かな発想養育で表現力を高めるための造形学習とその指導法の研究…笠原秀夫（埼玉県所沢市立精進小学校教諭）日本における手工教育の成立過程とその周辺…松岡忠雄（筑波大学）

第20回日本美術教育研究発表会に出席して…米倉正弘（早稲田大学高等学校）

今年の研究発表をふりかえる…大和屋巖（東京家政大学）

■社団法人日本美術教育連合役員：1985年度～1986年度（昭和60年4月～昭和62年3月）

第20回1986年度（昭和61年度）□理事長 岡田清一

### \*【第21回・第21号】1987年度（昭和62年度）\*

■第21回日本美術教育研究大会

主催：社団法人日本美術教育連合後援：文部省

日時：1987年（昭和62年）12月26日（土）

会場：筑波大学学校教育部（東京都文京区大塚3-29-1）

■日本美術教育研究紀要第21号 発行：1988年（昭和63年）3月

□目次

第21回美術教育研究発表会について…長谷喜久一（理事長）

美術教育にかかわる「自然的教育」の意味…赤木里香子（筑波大学大学院）

エレン・ケイ教育学の考察－社会美と人間形成－…遠藤敏明（筑波大学大学院）

昭和初明成教育運動－問所春をめぐって…半田結（筑波大学大学院）

M・リチャードソンとW・ジョンストンにおける「主題」の指導について…新井哲夫（横浜市立鶴見中学校）

豊かな人間性を育てる造形教育－生命の輝きに触れ、命をかけたがえのないものと思い、みすみずしい感動を謳い上げる造形教育－…帯包実枝子（高松市立松島小学校）

「物語の絵の指導過程に関する実証的研究」－塩谷美仔子「一つの花」の実践をもとに－…竹井史（神戸大学大学院）

柏崎比角小学校自由画教育の理念と方法…松本健義（山口女子大学）

描画指導の類別とその最適化に関する考察…栗田真司（筑波大学）

鑑賞教育の諸問題…南部正人（筑波大学大学院）

修学旅行と美術の学習に関する考察…山口書雄（横浜市立大島中学校）

描画表現の幼・小比較研究〈2〉－生成的色彩論の試み－…久山まさ子（聖徳学園女子短期大学）

児童画再発見の試み－「子どもの絵」（G.H.リュケ著）の読み直しを通して－…清水幸二（筑波大学大学院）

重複障害児の表現動作の発連とその指導に関する実践的研究－描画行動の発達過程の考察を中心に－…高橋晃（筑波大学附属桐が丘養護学校）

精神遅滞児教育における造形指導のあり方－優れた表現力を持つ児童・生徒の指導－…岡元和正（筑波大学附属大塚養護学校）

「頭の中は海の色」（BGMを使っの試み）（私の美術教育）…塚本文夫（八王子市立陵南中学校）

フランスの現代学校（フレネ教育）における美術表現の基本的な視点と特徴をめぐって…浜本昌宏（三重大学）

第26回国際芸術教育会議 INSEA にみるドイツの美術教育思潮…堀典子（横浜国立大学）

生徒の製作意欲の持続をめざして－ある自己評価の事例－…墳崎一（茨城県美浦中学校）

高等学校の造形教育におけるコンピューターグラフィックスの活用について…岩下親夫（筑波大学附属高等学校）

道草－回り道－をめざして…加賀裕子（横浜市立谷本中学校）

コラージュ絵画と録音音楽－両制作過程の共通点の考察－…岡田匡史（山口大学）

国際理解と造形美術教育－シンガポールの場合その1－…仲瀬律久（上越教育大学）

第21回美術教育連合研究発表会のお世話を…米倉正弘（常任理事）

■社団法人日本美術教育連合役員：1987年度～1988年度（昭和62年度～昭和63年度）

第21回1987年度（昭和62年度）

- 会 長 岡田清一
- 理 事 長 長谷喜久一（湘北短期大学）
- 常任理事 伊藤弥四夫（世田谷区立船橋小学校）・古市憲一（お茶の水女子大学附属小学校）・  
米倉正弘（早稲田大学高等学院）
- 理 事 稲垣達弥（東京造形大学）・大橋皓也（上越教育大学）・田中陽子（山梨女子短期大学）・  
川村浩章（文教大学）・熊本高工（元上越教育大学）・斎藤 清（千葉経済短期大学）・  
高山正喜久（元筑波大学）・長南光男（千葉大学）・林 健造（十文字学園女子短期大学）・  
堀 典子（横浜国立大学）・真鍋一男（横浜国立大学）
- 理事・事務局長 松岡忠雄（筑波大学）
- 理 事 宮脇 理（筑波大学）・村上陽通（武蔵野美術大学）・大和屋巖（東京家政大学）・  
吉田 宏（東京芸術大学）
- 監 事 中村 亨（京浜女子大学）・佐藤光二（元女子美術大学）

**\*【第22回・第22号】1988年度（昭和63年度）\***

■第22回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1988年（昭和63年）12月23日（金）

会場：国立教育会館（東京都千代田区霞が関3-2-3）

■日本美術教育研究紀要第22号 発行：1989年（平成元年）4月

第22回美術教育研究発表会について…長谷喜久一（理事長）

野外での造形活動の教育意義について…水島尚喜（東京学芸大学竹早小学校）

フランス・チゼックの美術教育に関する基礎的考察…石崎和宏（筑波大学大学院）

肢体不自由な児童・生徒の造形指導のあり方…臼井麻美子（筑波大学附属桐が丘養護学校）

重複障害児の表現動作の発達とその指導に関する実践的研究－その2－…高橋晃（筑波大学附属桐ヶ丘養護学校）

制作過程分析による描画表現意欲の低下児童に関する事例研究…栗田真司（筑波大学）

文学部における幼稚園・小学校教員養成の美術実技指導実践例…岩田弥富（山口女子大学）

パリ、ウィーン等での美術教育調査…村上暁郎（武蔵野美術大学）

教員養成大学・学部のアイデンティティの在り方…真鍋一男（横浜国立大学）

血液型と造形表現との関係についての調査研究－その1－…井戸裕子・熊田藤作（東京家政大学）

「子どもの描画表現の発達について」－発達の検証のための日仏共同研究報告（その1）－…大坪圭輔（東京都立田柄高等学校）

リサーチ・メソッドの理解に向けて レスター・ポリテクニク、ポストグラデュエイト（MA）における2つの研究活動例から…岩野雅子（英国レスター・ポリテクニク大学院）

ペーパーテストと美術教育…山口喜雄（横浜市立大鳥中学校）

■社団法人日本美術教育連合役員：1987～1988年度（昭和62年4月～昭和63年度）

※省略 [1987年度（昭和62年度）名簿に同じ]

**\*【第23回・第23号】1989年度（平成元年度）\***

■第23回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1989年（昭和64年）11月26日（日）午前9時～午後5時

会場：お茶の水女子大学附属小学校グリーン・オレンジルーム（東京都文京区大塚2-1-1）

■日本美術教育研究紀要第23号 発行：1990年（平成2年）3月

美術教育研究発表会とこれから…長谷喜久一（理事長）

近代日本における美術教員養成カリキュラム研究（I）第1期・第2期…松本健義（山口女子大学）

漫画の時間と空間－美術教育としての漫画表現－…喜久山悟（横浜国立大学大学院）

現在美術における主題性－美術教育の一方法として…陣内敦（筑波大学大学院）

関衛の児童画観（1）…向野康江（筑波大学大学院）

生活と造形－菊づくりの題材化－…海野茂（静岡市立南藁科小学校）

中学校の美術鑑賞教育カリキュラムに関する日本・台湾・米国の比較研究－1980年代初頭における鑑賞教育の目標を中心に－…王文純（筑波大学大学院）

精神遅滞児のための造形指導－造形指導での自然観察法の利点について－…岡元和正（長崎大学教育学部附属養護学校）

生涯学習としての美術教育－公開講座「楽しい色彩」の実践を通して－…茂木一司（鹿児島大学）

美術教育における絵画の混合・併用技法に関する一考察…梅宮英亮（福島大学）

戦後西洋美術教育の流れにおける一考…岩野雅子（英国レスター・ポリテクニク大学院）

今、幼児は何を描くか－国際比較研究の為の基礎資料作り－…岩田弥富（山口女子大学）

環境芸術の動向と教育課程…長能寿恵子（尾道市立東向中学校）

アイズナー氏講演『今日のアメリカの造形・美術教育事情』

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1989～1990年度（平成元年4月～平成2年度）

第23回1989年度（平成元年度）

□会 長 岡田清一（名誉会員）

□理 事 長 長谷喜久一（元湘北短期大学）

□常任理事 古市憲一（お茶の水女子大学附属小学校）

□常任理事・国際局長 村上陽通（武蔵野美術大学）

□常任理事 熊田藤作（東京家政大学）

□理 事 伊藤弥四夫（聖徳女子短期大学）・岩下親夫（筑波大学附属高校）・大橋皓也（上越教育大学）・米倉正弘（早稲田大学高等学院）・高山正喜久（元筑波大学）・田中陽子（山梨女子短期大学）・長南光男（千葉大学）・仲瀬律久（上越教育大学）・野々目桂三（\*）・服部鋼資（筑波大学附属小学校）・林健造（十文字学園女子短期大学）・樋口敏生（横浜国立大学）

□同・事務局長 松岡忠雄（筑波大学）

□理 事 真鍋一男（横浜国立大学）・宮脇 理（筑波大学）・吉田 宏（東京芸術大学）

□監 事 斎藤 清（千葉経済短期大学）・中村 亨（京浜女子大学）

### \*【第24回・第24号】1990年度（平成2年度）\*

■第24回日本美術教育研究発表会・紀要第24号

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1990年（平成2年）11月10日（土）午前9時～午後5時

会場：国立教育会館（東京都千代田区霞が関3-2-3）

■日本美術教育研究紀要第24号 発行：1991年（平成3年）3月

□目次

第24回日本美術教育研究発表会に寄せて…長谷喜久一（理事長）

空間認識と幾何学教育についての日仏比較共同研究中間報告（3）A－J.ボワセルの論文と児童画について－“彼らが描くにまかせよう”1890年－1914年：思想史の断片…藤崎典子（品川区立八潮南中学校）

空間認識と幾何学教育についての日仏比較共同研究中間報告（3）B－パラメーターの分析による木のアイコンタイプについて…北沢昌代（カリタス女子中学・高等学校）

土を素材とした学習の総合的な単元構成への試み…佐々木達行（筑波大学附属小学校）  
児童画における「工夫」の検証…高浦浩（東京学芸大学附属小金井小学校）  
J・デューイの教育における美的性質に関する研究…川路澄人（筑波大学大学院）  
小学校デザイン学習の手びき（1961）に関する研究…山田一美（北海道教育大学）  
障害児の造形学習から学ぶもの…海老原礼子（埼玉大学教育学部附属養護学校）  
中国の美術教育における技術指導…岩田弥富（山口女子大学）  
「イメージの世界」の表現指導について…太田恵美子（相模原市立緑が丘中学校）  
芸術とは考えて創るものではなく、生まれ出てくるものなのである（ヴィオラの言葉より）…エリザベート・  
サファール（オーストリア・ウィーン小学校校長）（堀典子訳）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：第24回1990年度（平成2年度）

- 会 長 岡田清一（名誉会員）
- 名誉会員 倉田三郎・岡田清一・藤浦敏雄・太田耕士・大和屋巖・熊本高工・川村浩章
- 理 事 長 長谷喜久一（元湘北短期大学）
- 常任理事（出版局長）熊田藤作（東京家政大学）
- 常任理事同 古市憲一（お茶の水女子大学附属小学校）
- 常任理事（国際局長）村上陽通（武蔵野美術大学）
- 理事（研究局長）真鍋一男（元横浜国立大学）
- 理事（事務局長）松岡忠雄（筑波技術短期大学）
- 理 事 伊藤弥四夫（聖徳女子短期大学）・岩下親夫（筑波大学附属高校）・大橋皓也（上越教育大学）・  
高山正喜久（元筑波大学）・田中陽子（山梨女子短期大学）・長南光男（千葉大学）・  
仲瀬律久（上越教育大学）・野々目桂三・服部鋼資（筑波大学附属小学校）・  
林 健造（十文字学園女子短期大学）・樋口敏生（日本女子大学）・宮脇 理（筑波大学）・  
吉田 宏（東京芸術大学）・米倉正弘（早稲田大学高等学院）
- 監 事 斎藤 清（千葉経済短期大学）・中村 亨（鎌倉女子大学）

\*【第25回・第25号】1991年度（平成3年度）\*

■第25回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1991年（平成3年）11月24日（日）午前9時～午後5時

会場：国立教育会館（東京都千代田区霞が関3-2-3）

■日本美術教育研究紀要第25号 発行：1992年（平成4年）3月

□目次

第25回日本美術教育研究発表会によせて…長谷喜久一（理事長）

幼児の粘土造形の心理学的研究…中川織江（日本女子大学大学院）

デザイン教材としてのスクリーン印刷の可能性－中学校学習指導要領の改訂に伴う教材開発－…鈴木佐知子  
（横浜国立大学大学院・横浜市立並木中学校）

表現と鑑賞の考察－実態調査をもとに表現学習と鑑賞学習の関連を考える－…池上楨雄（お茶の水女子大学  
附属小学校）

空間認識と幾何教育についての日仏比較共同研究美術部門－中間報告－日仏の子供にみる空間表現について  
…滝沢文子（豊島区立高南小学校）

教材論から見た小学校図画工作科高学年の「造形遊び」の可能性について…宮坂元裕（横浜国立大学）

豊かな感性と情操や創造性を育む造形学習…帯包実枝子（香川県高松市立栗林小学校）

幼児の造形認識と表現…熊田藤作（東京家政大学）

美術による自我形成の教育…山口喜雄（横浜市立菅田中学校）

「造形遊び」のすすめ－その理論と実践－…大塚雅春（東京都八王子市立第一小学校）

児童画にみられる美的原理（1）－形態からみた「バランス」について－…増田金吾（東京学芸大学）・岩崎愛彦（同大学院）

「読書感想画」の指導について－導入の段階から構想を練る迄－…太田恵美子（相模原市立緑が丘中学校）

スペイン ラス・パルマス日本人学校に於ける実践報告－異文化を体験した教師に何がみえたか？－…辰巳豊（千葉縣市川市立鶴指小学校）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：第25回1991年度（平成3年度）

□理事長 長谷喜久一（元湘北短期大学）

□常任理事 古市憲一（お茶の水女子大附小）・村上陽通（武蔵野美術大学）・熊田藤作（東京家政大学）

□事務局長・理事松岡忠雄（筑波技術短期大学）

□理事 伊藤弥四夫（聖徳大学短期大学）・岩下親夫（筑波大学附高・太田昭雄（幼児の造形教育家）・大橋皓也（上越教育大学）・田中陽子（山梨女子短期大学）・長南光男（千葉大学）・

仲瀬律久（上越教育大学）・野々目桂三（千葉経済短期大学）・服部鋼資（筑波大学附小）・

林 健造（十文字学園女子短期大学）・真鍋一男（元横浜国立大学）・宮脇 理（筑波大学）・

宮坂元裕（横浜国立大学）・吉田 宏（東京芸術大学）・米倉正弘（早稲田大学高等学院）

□監 事 斎藤 清（千葉経済短期大学）・高山正喜久（元筑波大学）

### \*【第26回・第26号】1992年度（平成4年度）\*

■第26回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1992年（平成4年）11月8日（日）午前9時～午後5時

場所：国立教育会館（東京都千代田区霞ヶ関3-2-3）

■日本美術教育研究紀要第26号 発行：1993年（平成5年）3月

□目次

造形活動と教育…長谷喜久一（理事長）

児童の美術才能を伸ばす環境－中国の少年宮における美術教育の現状－…銭初熹（筑波大学大学院）

タングラムを活用したデザイン学習…丹進（東京学芸大学附属小学校）

3歳～5歳児の粘土製作と描画の関連性についてⅠ 調査方法とデータ処理について…石川正一（山口女子大学附属幼稚園）

造形教育研究1－保育者養成校における造形的な試みによる学生の意識変化の調査－…小野和（東京成徳短期大学）

博士論文発表：論文題目『工藝による教育の研究』－教育媒体としての可能性…宮脇理（筑波大学）

宮脇理『工藝による教育の研究』執筆の必然性－博士論文公開に伴う口頭による論評（当日発表の記録）－…山木朝彦（大分大学）

国際交流と1965INSEA東京会議…熊本高工（元上越教育大学・連合名誉会員）

幼児の描く線と文化…岩田弥富（山口女子大学）

工部美術学校の教育…金子一夫（茨城大学教育学部）

■社団法人 日本美術教育連合役員名簿：1992年度（平成4年度）

□理事長 長谷喜久一（元湘北短期大学）

□常任理事 古市憲一（お茶の水女子大附小）・村上陽通（武蔵野美術大学）・熊田藤作（東京家政大学）

□事務局長・理事松岡忠雄（筑波技術短期大学）

□理事 伊藤弥四夫（聖徳大学短期大学）・岩下親夫（筑波大学附高・太田昭雄（幼児の造形教育家）・大橋皓也（上越教育大学）・田中陽子（山梨女子短期大学）・長南光男（元千葉大学）・

仲瀬律久（上越教育大学）・野々目桂三（千葉経済短期大学）・服部鋼資（筑波大学附小）・

林 健造 (十文字学園女子短期大学)・真鍋一男 (元横浜国立大学)・宮脇 理 (筑波大学)・  
宮坂元裕 (横浜国立大学)・吉田 宏 (鳴門教育大学)・米倉正弘 (早稲田大学高等学院)  
□監 事 斎藤 清 (元千葉経済短期大学)・高山正喜久 (元筑波大学)

**\*【第27回・第27号】1993年度 (平成5年度)\***

■第27回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1993年 (平成5年) 11月7日 (日) 午前9時～午後5時

場所：国立教育会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3

■日本美術教育研究紀要第27号 発行：1994年 (平成6年) 3月

□目次

知性と感性が育つ環境…長谷喜久一 (理事長)

聴覚障害教育におけるデザイン教育と指導法の研究No.1 (筑波技術短期大学デザイン学科の新教育課程編成を通しての考察) …児玉信正 (筑波技術短期大学)

幼児の粘土造形に関する基礎的研究－粘土の量と適切な硬さ、活動時間－…中川織江 (日本女子大学大学院)

近年のドイツの美術教育とノルドライン・ヴェストファーレン州において本年4月に改訂された美術科準則について－「美術に重点をおいた複数教科にわたる授業」の新しい試みについて－…堀典子 (横浜国立大学)

バウハウスが日本のデザイン教育に及ぼした影響…勝村謙一 (大月短期大学) 日本の伝統的な折り紙による教育の研究…田中陽子 (山梨県立女子短期大学) 幼児の線描の研究－アレフ2からアイコンへ－…岩田弥富 (山口女子大学)

日仏共同研究美術部門リポート…村上暁郎 (武蔵野美術大学)

Japanese Arts Education Today (Positive/Negative aspects) ……大橋皓也 (元上越教育大学)・仲瀬律久 (筑波大学)

□追悼 故 長能寿恵子会員

故長能寿恵子先生略年譜／追悼文「長能寿恵子先生を偲ぶ」…村上暁郎

第25回INSEA世界会議 モントリオール大会 参加記録 ('93・8・11～17)

■社団法人日本美術教育連合役員名簿 (平成5年度－6年度)：1993～1994年度 (平成5～6年度)

1994年度 (平成6年3月) 現在

□理 事 長 長谷喜久一 (元湘北短期大学)

□常任理事 古市憲一 (お茶の水女子大附小)・仲瀬律久 (筑波大学)・熊田藤作 (東京家政大学)

□事務局長・理事 松岡忠雄 (筑波技術短期大学)

□理 事 伊藤弥四夫 (聖徳大学短期大学)・池上禎雄 (戸田市立児童館)・岩下親夫 (筑波大学附高)・  
太田昭雄 (色彩教育研究所長)・大橋皓也 (元上越教育大学)・田中陽子 (山梨女子短期大学)・  
長南光男 (聖徳大学)・野々目桂三 (千葉経済大短大部)・服部銅資 (筑波大学附小)・  
林 健造 (十文字学園幼稚園長)・樋口敏生 (日本女子大学)・真鍋一男 (愛知産業大学)・  
宮脇 理 (佐賀大学)・宮坂元裕 (横浜国立大学)・村上暁郎 (武蔵野美術大学)

□監 事 斎藤 清 (元千葉経済短期大学)・高山正喜久 (元筑波大学)

**\*【第28回・第28号】1994年度 (平成6年度)\***

■第28回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1994年 (平成6年) 11月6日 (日)

場所：国立教育会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3

■日本美術教育研究紀要第28号 発行：1995年（平成7年）3月

□目次

人間形成と造形活動（手を通しての教育）…長谷喜久一（理事長）

幼児の立体造形における性差（3）－道具の扱いについて・台湾の場合－…宇佐美明子（武蔵野女子大学

中国の小学校における美術教育の現状－教科書の調査・分析を中心に－…銭初熹（筑波大学大学院）

聴覚障害教育におけるデザイン教育と指導法の研究No.2（学生作品に見る聴覚障害特性の一例）…児玉信正（筑波技術短期大学）

大正期の教育学者による芸術教育観Ⅰ－吉田熊次（1874～1964）の芸術教育批判論を中心として－…向野康江（武蔵野美術大学）

「空間イメージの広がり」中学生の空間を見つめる新たな眼、視点を変えて…鈴木佐知子（横浜市立鶴見中学校）

造形表現における児童の発達の特性と指導の在り方－絵画表現における発想と構想との関連について－…桑原茂雄（東京都立教育研究所）

文部省第15期中央教育審議会及び次期教育課程審議会への具申内容についての研究協議の推進 本連合研究プロジェクトチーム 審議経過報告…（研究局）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿（平成5年度－6年度）：1993～1994年度（平成5～6年度）

※省略 [1993年度（平成5年度）名簿に同じ] 平成7年3月現在

### \*【第29回・第29号】1995年度（平成7年度）\*

■第29回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人 日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1995年（平成7年）11月19日（日）

場所：国立教育会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3

■日本美術教育研究紀要第29号 発行：1996年（平成8年）3月

□目次

21世紀に向けての教育…長谷喜久一（理事長）

人間・教育・芸術 教育思想史から「芸術教育」へのアプローチドイツ芸術教育運動…西村德行（東京学芸大学大学院）

「100年後の学校作り」に見る造形と言語…川島芳子（横浜市立寺尾中学校）

在野におけるアートアクションの展開について…高橋美恵子（ヴィヴラヴィアートフォーラム）

生涯教育の基礎を培う造形美術学習の在り方 次期小・中学校教育課程の基準改訂の焦点…古市憲一（お茶の水女子大学文教育学部講師・前お茶の水女子大学附属小学校副校長）

中国における美術鑑賞教育の研究…銭初熹（筑波大学大学院）

創造の喜びと責任感の自覚を育む造形学習…帯包実枝子（高松市立日新小学校）

地域の伝統的造形と鑑賞教育－眺めるだけの花火から文化としての花火へ…佐藤昌彦（福島市立鎌田小学校）

造形的視野に立った中学校美術科の新しい展開－世界的難課題の解決を目指すドリームデザイン…太田恵美子（相模原市立麻溝台中学校）

第29回日本美術教育研究発表会特別発表 連合プロジェクト第1、2、3チーム報告…研究局

（社）日本美術教育連合30周年記念祝賀会当日資料より

社団法人日本美術教育連合の沿革

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1995～1996年度（平成7～8年度）

□理事長 長谷喜久一（元湘北短期大学教授）

□常任理事 熊田藤作（東京家政大学教授）・仲瀬律久（筑波大学教授）

古市憲一（前お茶の水女子大附小副校長）

□事務局長・理事 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□理事 市川哲男（東京都文京区立第二中学校長）・岩下親夫（筑波大学附属高校副校長）・

白井麻美子（東京都立明正高校教諭）・大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・

小野 和（東京成徳短期大学教授）・蔵西東黄（戸田市立笹目東小学校長）・

田中陽子（山梨県立女子短期大学教授）・長南光男（元千葉大学教授）・

生江洋一（筑波大学附属中学校教諭）・服部鋼資（筑波大学附属小学校教諭）・

林 健造（十文字女子短大附属幼稚園長）・樋口敏生（日本女子大学教授）・

宮坂元裕（横浜国立大学教授）・宮脇 理（前佐賀大学教授）・村上暁郎（武蔵野美術大学教授）

□監 事 斎藤 清（前千葉経済短期大学教授）・高山正喜久（筑波大学名誉教授）

### \*【第30回・第30号】1996年度（平成8年度）\*

#### ■第30回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1996年（平成8年）10月20日（日）

場所：国立教育会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3

■日本美術教育研究紀要第30号 発行：1997年（平成9年）3月

#### □目次

教師…長谷喜久一（理事長）

中学生の鑑賞意識に関する一考察…藤崎典子（品川区立八潮南中学校）

美術教育における玩具題材の研究－工作・工芸の学習における玩具題材の意義について－…春日明夫（お茶の水女子大学附属中学校）

豊かな表現を支援するための大学教育での課題－幼児教育における表現活動を支援できる教師像を求めて－  
…向野康江（茨城大学）

オランダの美術教育の現状 日本の美術教育との比較において…岩田弥富（山口県立大学）

現代美術と美術教育の間で…高橋美恵子（ヴィヴラヴィアートフォーラム）

高等学校美術工芸科の実態と今後の課題…白井麻美子（都立明正高等学校）

立体表現における児童の発達の特性と指導の在り方

…片岡眞幸（都立多摩教育研究所）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1995～1996年度（平成7～8年度）

※省略 [1995年度（平成7年度）の名簿と同じ]

### \*【第31回・第31号】1997年度（平成9年度）\*

#### ■第31回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1997年（平成9年）11月16日（日）

場所：国立教育会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3

■日本美術教育研究紀要第31号 発行：1998年（平成10年）3月

#### □目次

研究紀要刊行によせて…松岡忠雄（理事長）

中学生の鑑賞意識に関する一考察－§Ⅲ…藤崎典子（東京都渋谷区立長谷戸小学校）

4歳から6歳の描画にみられる色彩に関する一考察…島田由紀子（東京福祉専門学校）

中国における民間芸術（民間美術）とその教育…向野康江（茨城大学）

1990年代日本の美術教科書の中の鑑賞教材の分析 数量的観点から…岩田弥富（山口県立大学）

造形遊びの考え方による中学校美術教育の可能性－新学力観の基盤となる造形遊びの考え方の基礎として－

…野崎龍雄（東京都文京区立指ヶ谷小学校）

コミュニケーションを生かした授業「触覚板」の製作…鈴木佐知子（東京学芸大学大学院連合学校教育学  
研究科・横浜市立鶴見中学校）

実存的アプローチからの美術教育…高橋妙子（埼玉県上尾市立上尾中学校）

第1期造形教育セミナー 中間報告…榎原弘二郎（「造形教育セミナー」担当理事）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1997～1998年度（平成9・10年度）

□理事長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□常任理事 熊田藤作（東京家政大学教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・  
古市憲一（前お茶の水女子大附小副校長）

□事務局長理事 市川哲男（東京都文京区立第二中学校長）

□理事 伊藤弥四夫（聖徳大学短期大学部教授）・臼井麻美子（東京都立明正高校教諭）・

榎原弘二郎（埼玉大学教授）・大坪圭輔（東京大学教育学部附属中・高校教諭）・

春日明夫（お茶の水女子大附属中教諭）・蔵西東黄（戸田市立戸田南小学校長）・

竹内 博（京都教育大学名誉教授）・田中陽子（山梨県立女子短期大学教授）・

橋本光明（信州大学教授）・濱田 浩（筑波大学附属小学校教諭）・藤沢英昭（千葉大学教授）・

増田金吾（東京学芸大学助教授）・水上喜行（大阪教育大学教授）・

宮坂元裕（横浜国立大学教授）・宮脇 理（元筑波大学教授）

□監 事 大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・長南光男（元千葉大学教授）

### \*【第32回・第32号】1998年度（平成10年度）\*

■第32回：日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1998年（平成10年）11月22日（日）

場所：国立教育会館

■日本美術教育研究紀要第32号 発行：1999年（平成11年）3月

□目次

研究紀要の刊行にあたって…松岡忠雄（理事長）

VisualCommunication Project－パートI－…高橋妙子（上尾市立上尾中学校）

幼児の描画における色彩の移行過程について…島田由紀子（東京福祉専門学校）

大学授業における鑑賞の実践－仏教彫刻を題材として－…花村統由（東京学芸大学大学院連合学校教育学研  
究科博士課程）

幼児の、命名能力と、その衰退について…岩田弥富（山口県立大学国際文化学部）

一人一人の感覚を大切に、思いを伸び伸びと表現する造形活動の工夫－ルドルフ・シュタイナーの感覚教  
育の成果を生かして－…内野薫（東京都江戸川区立平井小学校）

イタリアの芸術系高等学校－グロヨーデンタールの聖ウルリッヒ芸術高等学校についての考察－…堀典子  
（横浜国立大学）

□特別発表

「構成教育の史的研究」について－第32回：日本美術教育研究発表会・茂木一司氏の発表に臨む－…宮脇理（元  
筑波大学）

構成教育の史的研究－イギリスの基礎デザイン運動：ビクター・パスモアとリチャード・ハミルトンの教育  
－…茂木一司（鹿児島大学教育学部）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1997～1998年度（平成9・10年度）

※省略 [1997年度（平成9年度）の名簿と同じ]

**\*【第33回・第33号】1999年度（平成11年度）\***

■第33回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合 後援：文部省

日時：1999年（平成11年）11月21日（日）

場所：国立教育会館

■日本美術教育研究紀要第33号 発行：2000年（平成12年）3月

□目次

研究紀要の刊行によせて…松岡忠雄（理事長）

感性と小学校図画工作…大塚和明（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）

ドイツとイタリアの芸術系高等学校の比較…堀典子（横浜国立大学）

幼児画に見られる3次元空間の表現について…岩田弥富（山口県立大学国際文化学部）

中学校美術科における「鑑賞」概念の検討…増山有美子（宇都宮大学大学院教育学研究科）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究－掲載された日本美術の平面作品と鑑賞学習の考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

21世紀（2000年代）への美術芸術教育 美工芸術教育は、人間形成と生活すべての基盤であることの再認識 基礎基本の習得こそ、自己教育力と自己確立、自活の根源なり…宮之原ノリ子（鹿児島県立美術講師）

「子ども」の側から見た児童画…増田金吾（東京学芸大学教育学部）・白檜佳子（同大学学部生）

美術教育雑考…村上暁郎（武蔵野美術大学）

第33回日本美術教育研究紀要を読んで…竹内博（紀要編集委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：1999～2000年度（平成11・12年度）

□理事長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□常任理事 蔵西東黄（戸田市立戸田南小学校長）・榎原弘二郎（埼玉大学教授）・大坪圭輔（東京大学教育学部附属中・高校教諭）

□事務局長・理事 市川哲男（前東京都文京区立第二中学校長）

□理事 伊藤弥四夫（聖徳大学短期大学部教授）・臼井麻美子（東京都立明正高校教諭）・

熊田藤作（東京家政大学教授）・竹内 博（多摩美術大学教授）・

辰己 豊（お茶の水女子大学附属小学校教諭）・田中陽子（山梨県立女子短期大学名拳教授）・

仲瀬律久（聖徳大学教授）・橋本光明（信州大学教授）・濱田 浩（筑波大学附属小学校教諭）・

古市憲一（前お茶の水女子大附小副校長）・増田金吾（東京学芸大学助教授）・

水上喜行（大阪教育大学教授）・水島尚喜（聖心女子大学助教授）・

宮坂元裕（横浜国立大学教授）・宮脇 理（元筑波大学教授）

□監 事 大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・長南光男（元千葉大学教授）

**\*【第34回・第34号】2000年度（平成12年度）\***

■第34回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2000年（平成12年）11月26日（日）

場所：聖心女子大学

■日本美術教育研究紀要第34号 発行：2001年（平成13年）3月

□目次

研究紀要刊行の辞…松岡忠雄（理事長）

□A群の部〔理論・実践研究論文〕

造形活動におけるものやこととの関係性…小林貴史（東京学芸大学教育学部附属大泉小学校）

図画工作科から発信する総合的な学習一試案－展覧会を契機として－…藤崎典子（渋谷区立長谷戸小学校）

短大生の身体認識の現況について…鈴木美樹（福島学院短期大学）

リードとフレネの芸術教育理念の共通性に関する一考察－『芸術による教育』と『仕事の教育』を通して－  
…結城孝雄（兵庫教育大学連合大学院）

幼児画に見られる時間の表現について…岩田弥富（山口県立大学国際文化学部）

美術科教員と情報活用能力についての一考察…遠藤信也（東京学芸大学教育学部附属高等学校）

童詩雑誌『きりん』とその時代の美術教育…勅使河原君江（鎌倉女子大学）

教師が形成する同僚性にもとづく美術教育実践について～横浜市における授業実践とその評価を通して～…  
松原雅俊（横浜市立上郷中学校）

今日の子どもに対応した美術教育の課題と展望－映像メディアと自己形成とのかかわりを視点として－…赤  
木恭子（横浜国立大学大学院）

イメージとコミュニケーションに関する一考察…山口拓也（藤沢市立湘南台中学校）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（2）－掲載された西洋美術の平面作品と美術学習の意義の考  
察…山口喜雄（都宮大学教育学部）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

教員養成学部フレンドシップ事業の三事例（Ⅱ）－岐阜大学教育学部における実践事例－…辻泰秀（岐阜大  
学教育学部）

教員養成学部フレンドシップ事業の三事例（Ⅲ）－愛知教育大学美術教育講座の実践報告－…樋口一成（愛  
知教育大学）

これからの美術教育…濱田浩（筑波大学附属小学校）

美術教育の課題研究…宮之原ノリ子（InSEA 会員）

鑑賞の学習における漫画表現の可能性…宇賀神俊彦（宇都宮大学教育学部附属中学校）

楽しい造形活動（造形遊び）における鑑賞の観点…増山有美子（宇都宮大学大学院教育学研究科）

北京市文化局幼稚園園児の絵画紹介と日本の子供達の絵画との比較検討…高橋美恵子（ヴィヴラヴィ・アー  
ト・フォーラム主宰）

幼児前期の子どもの描画の発達とつまずきについて－描画の発達の多様性をさぐる－…森田浩章（東京家政  
大学・くりの木幼稚園）

オランダの美術館における美術館教育について…西中川京（東京学芸大学大学院教育学研究科美術教育専攻）

美術教師としての自己形成の過程と展望…杉山かさね（宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程美術科4年）  
〈特別発表〉

20世紀前半の英国における美術教育改革の研究…直江俊雄（筑波大学）

□論評の部

第34号日本美術教育研究紀要の概要並びに【A群の部】及び【B群の部】の論評…竹内博並びに各編集委員（研  
究紀要編集委員長）

編集後記…蔵西東黄（研究局長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2000年度（平成12年度）

□理 事 長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□常任理事 蔵西東黄（前戸田市立戸田南小学校長）・榎原弘二郎（埼玉大学教授）・  
大坪圭輔（東京大学教育学部附属中・高校教諭）

□事務局長・理事 市川哲男（前東京都文京区立第二中学校長）

□理 事 伊藤弥四夫（聖徳大学短期大学部教授）・臼井麻美子（東京都立武蔵高校教諭）・  
熊田藤作（東京家政大学教授）・竹内 博（多摩美術大学教授）・

辰己 豊（お茶の水女子大学附属小学校教諭）・田中陽子（山梨県立女子短期大学名拳教授）・  
仲瀬律久（聖徳大学教授）・橋本光明（信州大学教授）・濱田 浩（筑波大学附属小学校教諭）・  
古市憲一（前お茶の水女子大附小副校長）・増田金吾（東京学芸大学教授）・

水上喜行（大阪教育大学教授）・水島尚喜（聖心女子大学助教授）・

宮坂元裕（横浜国立大学教授）・宮脇 理（元筑波大学教授）

□監 事 大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・長南光男（元千葉大学教授）

**\*【第35回・第35号】2001年度（平成13年度）\***

■第35回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2001年（平成13年）11月18日（日）

場所：東京大学教育学部附属中等教育学校

■日本美術教育研究紀要第35号 発行：2002年（平成14年）3月

□目次

研究紀要発刊によせて…松岡忠雄（理事長）

□A群の部〔理論・実践研究論文〕

美術教育を考える新しい仮説群…大塚和明（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）

朝鮮における日韓併合期中期（1922～1938）の図画教科書に見られるデザインの要素…鄭又碩（東京学芸大学連合大学院）

シカゴ・インスティテュート・オブ・デザイン（ニュー・バウハウス）における写真教育が今日の美術教育に与える視点について…金子宜正（高知大学）

造形活動におけるものやこととの関係性Ⅱ The Relation in Formative Activities Ⅱ…小林貴史（東京学芸大学教育学部附属大泉小学校）

リードとフレネの芸術教育理念の共通性に関する一考察Ⅱ－プーバーの理論に基づいた『芸術による教育 第9章教師』に観取する教育行為－…結城孝雄（兵庫教育大学連合大学院）

子ども期における造形性の萌芽と絵本に関する考察－『絵本目録』掲載画家最上位 赤羽末吉の研究を軸に－…久保木健夫（錦城高等学校）

これからの美術教育について（その2）絵画教育について－授業改革と題材開発の視点から－…濱田浩（筑波大学附属小学校）

総合的な学習の時間を活用した創造的な表現活－＜ブリコラージュ＞の思想を援用して－…藤崎典子（渋谷区立長谷戸小学校）

会話分析による鑑賞教育の評価に関する一考察－『教育美術』誌（1970～2001.11）からの分析－…杉林英彦（筑波大学大学院）

作品の解釈と交流の場をつくる試み：世田谷美術館の「見る・写す・表わす」展の報告 Designing a Space for Sharing Interpretation of Artworks: A Report of the exhibition "Perception-seeing" at the Setagaya Art Museum…塚田美紀（世田谷美術館）

生徒の学びを基軸とした授業構造の研究～育まれる能力と年間指導計画～…落合良美（福島大学大学院）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（3）－掲載された日本の仏像彫刻作品および美術科教科書と感性に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

InSEA 第31回世界会議における招待セミナーについて…王文純（Invited Seminar of InSEA 31st World Congress InSEA 招待セミナー（日本）コーディネーター）・石崎和宏（宇都宮大学）

「総合的な学習の時間」と21世紀の日本の造形教育－レジオバダゴギックの示唆するもの－ドイツ・ギムナジウムにおける美術の授業が示唆するもの－…堀典子（横浜国立大学）

教員養成学部で培われる「美術教師としての能力」形成に関する一考察…臼井沙織（宇都宮大学教育学部中学校教員養成課程美術科）

美術教師としての自己形成の過程と展望（2）－子どもへの造形支援の試み－…杉山かさね（宇都宮大学大

学院教育学研究科美術教育専攻)

「子どもの造形活動における表現への意欲に関する研究」へのアプローチ…佐々有紀子(宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程美術専修4年)

楽しい造形活動を通してかかわりを育てる授業—かかわりから学ぶ、自分らしさの発見—…日高康子(宇都宮市立横川東小学校)

高等学校芸術科美術における表現領域の実状…森田耕太郎(京都造形芸術大学非常勤講師)

総合的な学習と連携した美術教育の展開…丸雄治(横浜市立末吉中学校)

図画工作科で身に付けた基礎・基本が生きる総合的な学習活動～わたしたちの夢のまちを本物に「西小ドリーム展覧会」～…太田勇(横浜市立中川西小学校)

鑑(観)賞教育と評価教育—21世紀美術芸術教育本質の実現化に向かって—…宮之原ノリ子(1nSEA会員・元中学高等学校新採初任者研修指導教員)

日本の美術の行為を伴う鑑賞の実践について…稲生晴美(三浦市立南下浦中学校・横浜国立大学大学院芸術系教育専攻)

図画工作科における鑑賞学習のあり方—子どもを取り巻く社会の変化と鑑賞学習の変遷から—…高島利佳子(宇都宮市立雀宮南小学校)

一人一人の心の中にある思いや考えを表現する…片桐彩(相模原市立大野台中学校)

新教育課程にむけた授業実践と中学校教育における美術教育の役割について—ペン画の授業をとおして—…山口拓也(藤沢市立湘南台中学校)

子どもの描画の発達過程について…辻政博(東京都板橋区立上板橋第二小学校)

□論評の部

感想的総括…大橋皓也(研究紀要編集委員長)

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2001～2002年度(平成13・14年度)

□会 長 長谷喜久一(名誉会員)

□名誉会員 川村浩章・熊本高工・斉藤清・高山正喜久・長谷喜久一・林健造・大和屋巖

□理 事 長 松岡忠雄(筑波技術短期大学名誉教授)

□常任理事 榎原弘二郎(埼玉大学教授)・大坪圭輔(武蔵野美術大学教授)・増田金吾(東京学芸大学教授)

□事務局長・理事 蔵西東黄(前戸田市立戸田南小学校長)

□理 事 市川哲男(前東京都文京区立第二中学校長)・伊藤弥四夫(聖徳大学短期大学部教授)・

白井麻美子(東京都立武蔵高校教諭)・大橋皓也(上越教育大学名誉教授)・

岡崎昭夫(筑波大学助教授)・竹内 博(京都教育大学名誉教授)・

田中陽子(山梨県立女子短期大学名誉教授)・直江俊雄(筑波大学講師)・

仲瀬律久(聖徳大学教授)・橋本光明(信州大学教授)・濱田 浩(筑波大学附属小学校教諭)・

水島尚喜(聖心女子大学助教授)・宮坂元裕(横浜国立大学教授)・宮脇 理(元筑波大学教授)・

山口喜雄(宇都宮大学助教授)

□監 事 熊田藤作(東京家政大学教授)・長南光男(元千葉大学教授)

## \*【第36回・第36号】2002年度(平成14年度)\*

■第36回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2002年(平成14年)10月14日(月/体育の日)

場所：東京学芸大学

■日本美術教育研究紀要第36号 発行：2003年(平成15年)3月

□目次

研究紀要発刊のことば…(理事長)松岡忠雄

□A群の部〔理論・実践研究論文〕

中学校選択教科美術における観点別評価の諸課題…山田一美（東京学芸大学）

色彩感覚と五感覚の時代性…宮之原ノリ子（InSEA, 鹿児島県高・中学校美術教）師

小中高一貫教育研究における美術館との連携実践－高校生の活動を主として－…遠藤信也（東京学芸大学教育学部附属高等学校）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（4）－美術科教科書における立体造形作品掲載の意義…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

鑑賞学習による美術文化理解の可能性…宇賀神俊彦（宇都宮大学教育学部附属中学校）

鑑賞学習と美術文化の関係…河上博行（宇都宮大学大学院教育学研究科1年・栃木県宇都宮市立旭中学校）

造形活動におけるものやこととの関係性Ⅲ－関係の生成としての場所－…小林貴史（東京学芸大学教育学部附属大泉小学校）

現代美術のテキストの研究～インスタレーションの指導法からの一考察～…渡邊晃一（福島大学）

中学校美術科の研究動向と新教育課程…小山貞雄（兵庫教育大学学校教育学部附属中学校）

日本美術教育研究紀要にみる子どもの創造表現活動に関する一考察…藤崎典子（渋谷区立長谷戸小学校）

1、2歳児の描く行為とその意味形成…鮫島良一（鶴見大学短期大学部保育科非常勤講師）

現代において自律する個を育む映像メディアによる表現行為の可能性…赤木恭子（東京学芸大学連合学校教育学研究科）

社会の情報化の中での中学校美術科の課題と実践…松原雅俊（横浜市立上郷中学校）

個のはぐくみから見た自己評価力～小学校低学年の図画工作科における自己評価力の育成を目指して～…結城克徳（福島大学大学院）

高学年「楽しい造形活動（造形あそび）」授業の構築…押田彰子（横浜国立大学教育学研究科）

生徒の学びを基軸とした授業構造の研究～学びの充実をはかる自己評価カード～…落合良美（福島大学大学院）

子ども期における造形性の萌芽と絵本に関する考察・2－絵本の読み聞かせ 赤羽末吉の研究を軸に－…久保木健夫（錦城高等学校）

美術科ポートフォリオの実践からみた問題点と多方面への援用の可能性－学生用ポートフォリオ、卒業制作用ポートフォリオ、教師用ポートフォリオ、教育実習用ポートフォリオ、および入学審査用ポートフォリオの提案－…池内慈朗（福井大学）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

鑑賞教育の方法論に関する一考察－日本美術鑑賞の方法論：文化変容を中心に－百済観音鑑賞の実践に結びつけて－

（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）…柳芝英

鹿沼市における学校週5日制下の社会教育のなかでの美術教育…福田雅子（宇都宮大学教育学部4年）

一保護者から見た美術教育…秦野玲子（宇都宮大学大学院教育学研究科1年）

教員養成期に修得したい実践的指導力の考察…臼井沙織（宇都宮大学大学院教育学研究科1年）

思春期前期の子どもにおける太陽の描画表現に関する一考察…大島美恵（宇都宮大学大学院教育学研究科1年）

鑑賞の授業を通していきいきする生徒たち…稲生晴美（三浦市立南下浦中学校・横浜国立大学大学院）

図画工作による「意識的自己表現」の過程…杉山かさね（宇都宮大学大学院教育学研究科2年）

3歳児の造形活動における＜フレル＞ことの意味（構造）…加藤裕之（鶴見大学短期大学部保育科非常勤講師）

コミュニケーションを深める造形活動－豊かな人間性を求めて－…竹澤美恵子（宇都宮市立横川西小学校）

子どもの造形への意欲を高める評価方法の工夫～より多面的・継続的な評価の実際「くるり・ゆらり・きらりなアート（5年）」より～…野切卓（札幌立伏見小学校教諭・北海道教育大学大学院）

美術学習の本質と題材設定…鹿目走（宇都宮大学大学院教育学研究科1年）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2001～2002年度（平成13・14年度）

□会長 長谷喜久一（名誉会員）

□名誉会員 川村浩章・熊本高工・斉藤 清・高山正喜久・長谷喜久一・林 健造・大和屋巖

□理事長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□常任理事 榎原弘二郎（埼玉大学教授）・大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・増田金吾（東京学芸大学教授）

□事務局長・理事 蔵西東黄（前戸田市立戸田南小学校長）

□理事 市川哲男（前東京都文京区立第二中学校長）・伊藤弥四夫（聖徳大学教授）・

臼井麻美子（東京都立武蔵高校教諭）・大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・

岡崎昭夫（筑波大学助教授）・竹内 博（京都教育大学名誉教授）・

田中陽子（山梨県立女子短期大学名誉教授）・直江俊雄（筑波大学講師）・

仲瀬律久（聖徳大学教授）・橋本光明（信州大学教授）・濱田 浩（筑波大学附属小学校教諭）・

水島尚喜（聖心女子大学助教授）・宮坂元裕（横浜国立大学教授）・宮脇 理（元筑波大学教授）・

山口喜雄（宇都宮大学助教授）

□監 事 熊田藤作（東京家政大学教授）・長南光男（元千葉大学教授）

### \*【第37回・第37号】2003年度（平成15年度）\*

■第37回 日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2003年（平成15年）10月26日（日）

場所：聖心女子大学

■日本美術教育研究論集第37号 発行：2004年（平成16年）

□目次

研究論集の刊行に寄せて…松岡忠雄（理事長）

□A群の部〔理論・実践研究論文〕

DBAE政策下における美術教員養成プログラムの開発セミナーに関する研究（1987～9）…和田学（筑波大学大学院）

プリンス・ルドルフ・ツア・リッペ教授の「感覚を重視した美術教育」について—金子一夫教授の「知的美術教育」との比較についての大学院生による考察—…堀典子（横浜国立大学）

児童画の発達段階の変化と学校美術教育における新たなカリキュラムの考案…銭初熹（中国華東師範大学・JSPS外国人招へい研究者・茨城大学外国人研究員）

日本における「文字なし絵本」の出発—ディック・ブルーナと安野光雅—…久保木健夫（錦城高等学校）

児童生徒の太陽の描画表現に関する—考察—日本と台湾の比較—…大島美恵（宇都宮大学大学院）

関衛による批判文から読み取る大正・昭和初期の図画教育に関する問題点…向野康江（茨城大学）

きりえ絵本の発生と学校教育におけるきりえのあり方…高橋愛（茨城大学）

幼児の色彩感情（3）性による色の使い分け…島田由紀子（聖徳大学短期大学部）

赤津隆助の図画教育…増田金吾（東京学芸大学）

チゼック授業clv.18～21—題材「玉座のネーガス」とその設定動機をめぐって—…山田一美（東京学芸大学）

ZPDにみる子どもの自己形成のための足場づくり～4歳児の描画活動の事例から～…北原純子（福島大学大学院）

小学校低学年図画工作科における自己評価力の育成…結城克徳（福島大学大学院）

中高生の現代視覚文化に対する意識およびマンガ・アニメーション教材に関する考察…坂本綾子（宇都宮大学大学院1年）

場所をつくりかえる子ども達—実践を通して—…藤崎典子（渋谷区立長谷戸小学校）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（５）－デザインの平面作品に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

自己の美的価値観を発見するための提案～美術館のワークショップの実践をもとに\_\_01～…倉科勇三（芦屋市立美術博物館）・勅使河原君江（神戸大学発達科学部）

工作教育の新たな試み－心象表現をどこまで取り入れるか－…濱田浩（筑波大学附属小学校）

美術教育学習の可能性：単科学習から総合学習への流れの中で…岩井香織（パリ13大学人間社会科学部教育文化資源研究グループ教育科学博士課程）

B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

ドイツ フロイデンベルク「感覚の学校」…加藤愛子（瀬戸市立西陵小学校非常勤講師）

高等学校新教育課程（工芸）施行を契機として再考する素材との対話を重視した教材例…遠藤信也（東京学芸大学教育学部附属高等学校）

生徒の創造的発想力を高めるためのワークシート開発に関する一考察…長井卓也（宇都宮大学大学院1年）

「観察実習」を通しての美術教育理解と今後の自己課題…鈴木雪代（宇都宮大学大学院2年）・福田友紀（宇都宮大学大学院2年）

小学校教員養成課程における図画工作の学習指導力形成に関する一考察

－宇都宮大学教育学部における授業「図画工作（実技）」を手がかりに－…臼井沙織（宇都宮大学大学院生）

一附属中学校における美術教育の学力観に関する一考察…鹿目走（宇都宮大学大学院2年）

生涯学習時代の色彩学習の考察…鈴木明子（宇都宮大学大学院・栃木県塩谷郡高根沢町立阿久津中学校）

図画工作科の鑑賞学習指導における子どもの自己変容…高久佳代子（宇都宮市立豊郷中央小学校）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2003～2004年度（平成15・16年度）

会 長 長谷喜久一（名誉会員）

名誉会員 川村浩章・熊本高工・斉藤清・高山正喜久・長谷喜久一・林健造・大和屋巖

理 事 長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

常任理事 宮坂元裕（横浜国立大学教授）・大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・増田金吾（東京学芸大学教授）

事務局長・理事 蔵西東黄（前戸田市立戸田南小学校長）

理 事 石崎和宏（宇都宮大学助教授）・大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・

熊田藤作（東京家政大学教授）・竹内 博（京都教育大学名誉教授）・

辰巳 豊（お茶の水女子大学附属小学校教諭）・田中陽子（山梨県立女子短期大学名誉教授）・

直江俊雄（筑波大学講師）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・橋本光明（信州大学教授）・

濱田 浩（筑波大学附属小学校教諭）・福本謹一（兵庫教育大学教授）・

水島尚喜（聖心女子大学助教授）・宮脇 理（元筑波大学教授）・山口喜雄（宇都宮大学教授）・

山田一美（東京学芸大学助教授）

監 事 長南光男（元千葉大学教授）・市川哲男（前文京区立第二中学校長）

### \*【第38回・第38号】2004年度（平成16年度）\*

■第38回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2004年（平成16年）10月24日（日）

場所：武蔵野美術大学

■日本美術教育研究論集第38号 発行：2005年（平成17年）3月

目次

研究論集の刊行によせて…松岡忠雄（理事長）

A群の部〔理論・実証研究論文〕

第二次世界大戦後の美術教育の動向：フランスと日本の比較か…岩井香織（パリ13大学人間社会科学部教育文化資源研究グループ教育科学博士課程）

地域イベントにおけるマインズ・オン型プログラムの実践…上野ゆかり（筑波大学大学院）

「堀内正和の世界展」における教育普及について－『形』の面白さと出会うために－…北澤智豊（筑波大壺大学院博士課程人間総合科学研究科芸術学専攻）

美術教育における感性研究の展開と絵本の問題…久保木健夫（錦城高等学校）

青年期の自尊感情を高めるキャラクターデザインについての考察…坂本綾子（宇都宮大学大学院教育学研究科2年）

領域融合的な造形デザインにおける創造性についての研究…佐野孝太郎・永井由佳里（北陸先端科学技術大学院大学・知識科学研究科）

幼児の色名使用の実態…島田由紀子（聖徳大学短期大学部）

現代の中国における絵本観と教育現場における絵本の扱われ方…高橋愛（東京学芸大学連合大学院）

造形空間の元型論－鑑賞から表現活動の展開への一方法論－…寺澤節雄（静岡大学）

工作教育の理念とその変遷－（その1）明治、大正期の手工教育－…濱田浩（筑波大学附属小学校）

「造形的なやりとり」と共生共創の造形授業…林耕史（筑波大学附属小学校）

人とのかかわりを通して創造する子ども達－展覧会の企画実践より－…藤崎典子（渋谷区立長谷戸小学校）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（6）－デジタルアーカイブ化と掲載されたデザインの立体作品に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

知的障害児の美術教育の実践研究－ケータイというメディアの可能性－…吉永雅明（埼玉県立熊谷養護学校）・堀込直道（群馬大学大学院教育学研究科）・茂木一司（群馬大学）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

主体的体験から学びにつながる造形あそびの授業…押田彰子（厚木市立戸室小学校）

「からだ」から発信するアート教育…郡司明子（お茶の水女子大学附属小学校）

校種を超えた一貫性のある造形美術教育の実践的研究－幼保・小・中・高・大の連携からのアプローチ－…庄司雅和（山形市立蔵王第一中学校・山形大学大学院）

生活との関連をめざした色彩学習の研究…鈴木明子（宇都宮大学大学院・栃木県高根沢町立阿久津中学校）

教育実習における自己の変容～観察実習から本実習への発展と美術教育理解の深化～…鈴木雪代（宇都宮大学教育学部美術教育専攻3年）

個性的な表現力を育む－3～4年生の美術指導－…堀宏行（玉川学園小学部）

美術館利用が楽しくなる働きかけの研究－埼玉県立近代美術館夏休み子ども利用研究ワーキング・グループの研究報告－山田一文（埼玉県立近代美術館）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2003～2004年度（平成15・16年度）

※省略〔2003年度（平成16年度）の名簿と同じ〕

## \*【第39回・第39号】2005年度（平成17年度）\*

■第39回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2005年（平成17年）10月23日（日）

場所：横浜国立大学

■日本美術教育研究論集第39号 発行：2006年（平成18年）3月31日

□目次

研究論集発刊のことば…松岡忠雄（理事長）

□A群の部〔理論・実践研究論文〕

工作教育の理念とその変遷－（その2）昭和初期から現在までの工作教育－…濱田浩（筑波大学附属小学校）

美術教育と工芸の関わりについての一考察－近代工芸史による再解釈を起点として－…遠藤信也（東京学芸大学研究生）

室靖（むろ・おさむ）と1951年の国際美術教育セミナー…和田学（\*）

我が国の描画発達段階研究論にみる研究視点の変遷…平山奈津季（茨城大学大学院）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（7）－工芸の平面および立体作品に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

彫刻教育における「学び」観－中学校の教科書における彫刻素材の変遷を辿りながら－…奥西麻由子（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）

中国における美術教育の現状－小・中学校の授業実践を中心に／残存する臨画教育の方法－…近藤知佳（茨城大学大学院教育学研究科）

児童による基本色理解の傾向と色彩学習への示唆…高木厚子（兵庫教育大学）

日本と韓国における「学習指導要領」の変遷比較研究－小学校「美術科」の目標を中心に－…千凡晋（東京学芸大学大学院美術教育専攻修士課程）

物語絵における造形空間の追求－多次元的時空と造形性－…寺澤節雄（静岡大学）

現代中国（上海）における大人と子どもの絵本観－実態調査に基づいて－高橋愛（東京学芸大学大学院連合）  
安野光雅の数の絵本－『はじめてであうすうがくの絵本シリーズ』を中心に－久保木健夫（千葉敬愛短期大学）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

コミュニケーションを生かした自画像の授業…姉川明子（栃木県高根沢町立阿久津中学校）

ロール・プレイと鑑賞教育－絵や立体を体で味わう－…岡田匡史（信州大学）

図画工作科の活性化を目指す実践研究（1）－公立小学校と秋田大学との共同研究－…長瀬達也（秋田大学）・遠藤敏明（秋田大学）

素材との出会いを生かした造形遊びの授業…押田彰子（厚木市立戸室小学校）

造形活動における適時性をさぐる－楽しさを軸にして－…森田浩章（東京家政大学）

甲骨文字からの漢字の成り立ちの考察に基づいた絵文字の教材研究－甲骨文字の創作過程からの措画法の研究－…天野佑哉（千葉市立花園中学校）

集団不適應の子どもが造形活動に向かうとき－通常の学級に於ける授業を通して－…藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校）

□論評の部 論集の基本路線について…大橋皓也（研究論集編集委員会委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2003～2004年度（平成17・18年度）

□会 長 長谷喜久一（名誉会員）

□名誉会員 川村浩章・熊本高工・斉藤 清・高山正喜久・長谷喜久一・林 健造・大和屋巖

□理 事 長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□常任理事 宮坂元裕（横浜国立大学教授）・大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・山田一美（東京学芸大学教授）

□事務局長・理事 蔵西東黄（白百合女子大学教授）

□理 事 白井麻美子（都立武蔵高等学校教諭）・遠藤友麗（聖徳大学教授）・

大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・熊田藤作（東京家政大学教授）・

郡司明子（お茶の水女子大学附属小学校教諭）・竹内 博（京都教育大学名誉教授）・

直江俊雄（筑波大学助教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・橋本光明（信州大学教授）・

濱田 浩（元筑波大学附属小学校教諭）・福本謹一（兵庫教育大学教授）・

増田金吾（東京学芸大学教授）・藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校教諭）・

水島尚喜（聖心女子大学教授）・山口喜雄（宇都宮大学教授）

□監 事 市川哲男（元文京区立第二中学校長）・長南光男（元千葉大学教授）

**\*【第40回・第40号】2006年度（平成18年度）\***

■第40回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2007年（平成18年）10月22日（日）

場所：桑沢デザイン研究所

■日本美術教育研究論集第40号 発行：2007年（平成19年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…理事長 松岡忠雄

□A群の部（理論・実践研究論文）

美術体験に関する論述学習－高等学校におけるアトライティングの現状と可能性－…直江俊雄（筑波大学）

図画工作科の活性化を目指す実践研究（2）－公立小学校と秋田大学との造形遊びに関する共同研究の成果  
－…長瀬達也（秋田大学）・遠藤敏明（秋田大学）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（8）－掲載された歴史的建造物作品と感性に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

国民学校芸能科の改訂希望案（昭和14～15年）の研究－日本手工研究会の手工科設立案について－…和田学（\*）

身体障害者の立体表現の可能性－社会教育活動の実践を通して－…奥西麻由子（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）

幼児期から小学校へつながる造形教育に関する一考察－フランスの幼児教育制度から－…藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

中学校における「育てたい力」から見た鑑賞の授業実践…稲生晴美（神奈川県三浦市立初声中学校）

アートゲームを用いた言葉による美術作品へのアプローチ－小学校高学年におけるアートゲームの授業実践から－…皆川ひろ子（筑西市立中小学校）

《対話》を通して見る～美術史の授業実践報告～…佐藤朋子（\*）

子ども自身の心を動かす授業の工夫－導入時の指導、多様な材料体験、相互鑑賞活動を通して－…佐藤仁美（葛飾区立堀切小学校）

不登校児童・生徒のための図画工作・美術教育の在り方（Ⅰ）－高尾山学園の設立趣旨と図画工作・美術教育の基本構想の視点－…須藤昭人・野崎龍雄（八王子市立高尾山学園）

不登校児童・生徒のための図画工作・美術教育の在り方（Ⅱ）－高尾山学園の図画工作・美術教育の実践を通して－…須藤昭人・野崎龍雄（八王子市立高尾山学園）

□論評の部

日本美術教育研究論集の特色…大橋皓也（研究論集編集委員会委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2003～2004年度（平成17・18年度）

※省略〔2004年度（平成17年度）の名簿と同じ〕

**\*【第41回・第41号】2007年度（平成19年度）\***

■第41回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2008年（平成19年）10月21日（日）

場所：桑沢デザイン研究所

■日本美術教育研究論集第41号 発行：2008年（平成20年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□A群の部〔理論・実践研究論文〕

美術の授業における色彩教育と感性－色彩の嗜好と識別力の関係・色彩と連想語の組合せ－…姉川明子（佐賀市立城東中学校）・姉川正紀（中村学園大学流通科学部流通科学科）

造形活動における共感に関する一考察…石賀直之（横浜国立大学教育人間科学部附属横浜小学校）

動物をモチーフにした絵本と美術－美術教育における動物というテーマについて－…久保木健夫（千乗敬愛短期大学）

造形遊びにおける意味の理解－社会的相互交渉について－…丁子かおる（福岡教育大学）

私の美術教育学－造形空間解釈の理論と造形活動の方法－…寺澤節雄（静岡大学名誉教授）

『小学校図画工作指導書』（昭和35年）に関する一考察－学習指導要領に対する指導書の解説機能の評価－…中村元隆（東京学芸大学大学院）

小学校図画工作科・中学校美術科における基礎的・基本的な知識・技能に関する一考察～DcSeCoプロジェクトにおけるキー・コンピテンシーとの連関を中心に～…松原雅俊（横浜市教育委員会事務局教育政策課）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（9）－掲載された映像メディア作品に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

□B群の部〔実践研究報告、研究ノート等〕

Visual Thinkingを活用した鑑賞の授業～対話型鑑賞授業とアートカードを利用した授業実践から～…押田彰子（神奈川県厚木市立鳶尾小学校）

思春期の子どもたちを自発的造形活動に導く指導法の研究…高橋花子（川崎市立南菅中学校）

対話で学び合う造形活動…仲嶺盛之（筑波大学附属小学校）

日本の伝統・文化と小学生－七宝焼の制作を通して－…藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校）

□論評の部

日本美術教育研究論集の意義と位置づけ…水島尚喜（研究論集編集委員会委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2003～2004年度（平成19・20年度）

平成20年（2008年）3月現在

□会 長 松岡忠雄（筑波技術短期大学名誉教授）

□名誉会員 川村浩章・斉藤清・高山正喜久・長谷喜久一・林健造・大和屋巖

□理 事 長 宮坂元裕（帝京平成大学教授）

□常任理事 山口喜雄（宇都宮大学教授）・榎原弘二郎（埼玉大学教授）・

大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）

事務局長・理事 林耕史（筑波大学附属小学校教諭）

□理 事 金子一夫（茨城大学大学院教授）・小林貴史（東京造形大学准教授）・

水島尚喜（聖心女子大学教授）・茂木一司（群馬大学教授）・遠藤友麗（聖徳大学教授）・

大橋皓也（上越教育大学名誉教授）・蔵西東黄（白百合女子大学教授）・

橋本光明（信州大学教授）・直江俊雄（筑波大学大学院准教授）・長田謙一（首都大学東京教授）・

福本謹一（兵庫教育大学教授）・藤江 充（愛知教育大学教授）・

西村德行（筑波大学附属小学校教諭）・藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校教諭）

□監 事 市川哲男（元文京区立第二中学校長）・仲瀬律久（聖徳大学教授）

**\*【第42回・第42号】2008年度（平成20年度）\***

■第42回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2008年（平成20年）10月19日（日）

場所：帝京平成大学池袋キャンパス

■日本美術教育研究論集第42号 発行：2009年（平成21年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□A群の部（理論・実践研究論文）

美術科教育におけるデジタル・アーカイブとその活用…姉川明子（佐賀市立巨勢小学校）・姉川正紀（中村学園大学流通科学部流通科学科）

造形活動における相互行為分析の視座－授業研究・指導法改善の方法論（1）－…奥村高明（国立教育政策研究所）

スクリブル活動における1歳の子どもと親の情動共有…片岡杏子（東京学芸大学大学院連合）

屏風を題材としたワークショップの研究－イタリアと日本の小学校4年生の場合－…手塚千尋（群馬大学大学院教育学研究科）・茂木一司（群馬大学教育学部）・井上昌樹（群馬大学大学院教育学研究科）

ベン・ニコルソン作品の鑑賞からレリーフ作りへ…寺澤節雄（静岡文化芸術大学）

図画工作科学習カードへの美的体験欄導入による情操涵養の試み…藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校）

小学校図画工作科・中学校美術科における基礎的・基本的な知識・技能に関する一考察Ⅱ－造形活動における学習者の能動的な学びの連鎖と反省性の重要性について－…松原雅俊（横浜市教育委員会事務局教育政策課）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（10）－色彩題材の変遷とその掲載作品の考察－…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

今日の韓国の美術科教育課程－変化及び課題－…柳芝英（韓国 春川教育大学校）

□B群の部（実践研究報告・研究ノート）

伝統文化鑑賞の今日的課題…岩崎真季（大阪市立住之江小学校）

ストレスマネジメントと造形教育の接点を探る実践－「香りがくれた贈り物」「光の国のジオラマ」の実践を通して－…岡照幸（東京学芸大学大学院・国立音楽大学附属小学校）

図画工作科鑑賞プログラムと地域芸術振興…押田彰子（厚木市立厚木第二小学校）

交通事故遭遇児童の回復過程と美術…金澤貴子（宇都宮大学大学院教育学研究科）

教育学部美術講座における油彩画実技指導の実践研究…株田昌彦（宇都宮大学）

描画行動の発達を促す指導法の考察－特別支援学校における実践－…坂本綾子（栃木県立栃木特別支援学校）

地域の文化財及び素材の教材化－地域の文化財施設「文武学校」を活用した造形活動のひろがり－…野田俊司（信州大学大学院教育学研究科）

「造形的なやりとり」を通じた協同的な造形活動の理論と実践－図画工作科教育における意義と可能性－…林耕史（筑波大学附属小学校）

□評論の部

日本美術教育研究論集の特質とこれから…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2007～2008年度（平成19・20年度）

平成21年（2009年）3月現在

※省略〔2007年度（平成19年度）の名簿と同じ〕

**\*【第43回・第43号】2009年度（平成21年度）\***

■第43回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2009年（平成21年）10月18日（日）

場所：筑波大学大塚分館

■日本美術教育研究論集第43号 発行：2010年（平成22年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□A群の部（理論・実践研究論文）

美術科教育（鑑賞）における学校図書館の活用…姉川明子（佐賀市立城東中学校）・

姉川正紀（中村学園大学流通科学部流通科学科）

幼児教育における〈体験一経験〉の位相…大橋麻里子（聖心女子大学大学院文学研究科）

造形活動における相互行為分析の視座（2）－相互行為分析の手がかりとしての視線－…奥村高明（国立教育政策研究所）

表象活動の展開にみる子どもの表現のみちすじ…片岡杏子（東京学芸大学大学院連合）

高校美術における鑑賞と表現を一体化した授業「アニメ美術史」が育てる美術の力とは？…木谷安憲（東京芸術大学大学院・埼玉県立芸術総合高等学校教諭）

幼児の図形による見立て－保育環境による比較－…島田由紀子（和洋女子大学）

図画工作科におけるポリフォニックネットワーク－「多声的状況」に共在する個のつながりを探る試み－…立川泰史（東京学芸大学附属小金井小学校）

キュビズム鑑賞と造形活動…寺澤節雄（静岡文化芸術大学・静岡英和女学院中高等学校）

図画工作科における心象表現の研究－授業実践「夢を入れる器を作ろう」を通して－…直井崇（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科）

造形表現における豊かな想像力とパーソナリティ障害に関する一考察…村松和彦（宇都宮大学教育学部附属小学校）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（11）－平和題材に関する考察－…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

フランス美術教育の今日的状況『教育法典』と『Beaux Arts magazine』誌の意識調査から…結城孝雄（東京家政大学）

□B群の部（実践研究報告・研究ノート等）

子どもの主体性にはたらきかける美術館鑑賞のあり方…岩崎真季（大阪市立住之江小学校）

身体障害者施設における創造的活動の可能性－「日の出舎アートフェスティバル」の実践を通して－…奥西麻由子（埼玉学園大学）

造形美術教科における小、中、高と大学との連携の試み…北沢昌代（武蔵野美術大学・聖徳大学）

よさや美しきを感じ取る鑑賞活動から表現活動へのひろがり

－小学校第4学年「見つけて・感じて・あらわそう」におけるアートゲームと対話型鑑賞を通して－…小林優子（茨城県取手市立取手小学校）

線による抽象的心情表現の指導…相馬亮（学校法人桜の聖母学院中学校）

日本の伝統・文化理解教育の視点に立った図画工作科の指導改善の一考察…竹内とも子（千代田区立九段小学校）

主体的な鑑賞活動をめざした授業の構想－鳥獣人物戯画絵巻の鑑賞を通して－…野田俊司（信州大学大学院教育学研究科）

表現と対話を取り入れた学校向け鑑賞プログラム：水戸芸術館現代美術センター・あーとバスの報告…林剛人丸（筑波大学）

□評論の部

日本美術教育研究論集に求められるもの…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2009～2010年度（平成21・22年度）

平成22年（2010年）3月現在

□名誉会員 川村浩章・斉藤清・高山正喜久・長谷喜久一・林健造・大和屋巖

□理事長 宮坂元裕（帝京平成大学教授・横浜国立大学名誉教授）

□常任理事 山口喜雄（宇都宮大学教授）・榎原弘二郎（埼玉大学名誉教授）・

大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）

- 事務局長・理事 西村德行（筑波大学附属小学校教諭）
- 理事 新井哲夫（群馬大学教授）・金子一夫（茨城大学大学院教授）・小林貴史（東京造形大学准教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・長田謙一（首都大学東京教授）・橋本光明（信州大学教授）・服部鋼資（東京福祉大学教授）・林 耕史（群馬大学准教授）・福本謹一（兵庫教育大学教授）・水島尚喜（聖心女子大学教授）・茂木一司（群馬大学教授）
- 監事 山田一美（東京学芸大学教授）・藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校教諭）

**\*【第44回・第44号】2010年度（平成22年度）\***

■第44回日本美術教育研究発表会

主催：社団法人日本美術教育連合

日時：2010年（平成22年）10月24日（日）

場所：武蔵野美術大学 2号館

■日本美術教育研究論集第44号 発行：2011年（平成23年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□A群の部（理論・実践研究論文）

中学校美術科教育における美術館の活用…姉川明子（佐賀市立城東中学校）・姉川正紀（中村学園大学）

美術表現による〈わたし〉の形成…片岡杏子（東京福祉大学）

「味わい直し」のための鑑賞プログラム試案…北澤俊之（東洋大学文学部教育学科）

学校教育における工作・工芸のコンセプト…佐藤真帆（ローハンプトン大学大学院）

幼児の図形による見立てと描画発達に関する継続調査の比較検討…島田由紀子（和洋女子大学）

戦後初の小学校図画工作科検定教科書における製図学習…富澤富士雄（湘南工科大学）

彫刻を通じた美術教育の在り方に関する一考察…林耕史（群馬大学）

美術教育専攻学生の理論と実践による学びの意義－美術教育の社会的展開への学生参加支援からの考察－…  
本田悟郎（宇都宮大学）

デジタル・デバイスを用いた鑑賞教育の妥当性についての一考察…村松和彦（宇都宮大学教育学部）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（12）－「民主主義」題材に関する考察－…山口喜雄（宇都宮大学教育学部）

韓国の2009教育課程改訂と美術教育－美術教育における教育課程の変化の方向性－…柳芝英（韓国 春川教育大学校）

□B群の部（実践研究報告・研究ノート等）

児童木版画と魯迅－75年前の作品を見る－…江渡英之（和光大学）

高等学校芸術（工芸）における指導方法の工夫改善－考えながらつくる過程を通じた思考力・判断力・表現力伸長の指導－…尾澤勇（東京学芸大学附属高等学校）

大学美術教育カリキュラムにおける地域展覧会との連携－大田原市街かど美術館の実践から－…株田昌彦（宇都宮大学）

「音もだちランド」における学生の学びについて…北沢昌代（聖徳大学短期大学部保育科）

東京と上海の児童画交流を通じた学び－二つの区立小学校における取り組み－…藤崎典子（東京都渋谷区立加計塚小学校）・銭初熹（中華人民共和国 華東師範大学）

□評論の部

日本美術教育研究論集にある独自性…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）

■社団法人日本美術教育連合役員名簿：2009～2010年度（平成21・22年度）

平成23年（2011年）3月現在

□名誉会員 川村浩章 齊藤清 高山正喜久 長谷喜久一 林健造 大和屋巖

役員

- 理事 長 宮坂元裕 (帝京平成大学教授・横浜国立大学名誉教授)
- 常任理事 山口喜雄 (宇都宮大学教授)・榎原弘二郎 (埼玉大学名誉教授)・  
大坪圭輔 (武蔵野美術大学教授)
- 事務局長・理事 西村德行 (筑波大学附属小学校教諭)
- 理事 新井哲夫 (明治学院大学教授)・金子一夫 (茨城大学教授)・小林貴史 (東京造形大学教授)・  
仲瀬律久 (聖徳大学教授)・長田謙一 (首都大学東京教授)・橋本光明 (信州大学教授)・  
服部鋼資 (東京福祉大学教授)・林 耕史 (群馬大学准教授)・  
福本謹一 (兵庫教育大学理事・副学長)・水島尚喜 (聖心女子大学教授)・  
茂木一司 (群馬大学教授)
- 監 事 山田一美 (東京学芸大学教授)・藤崎典子 (渋谷区立加計塚小学校教諭)

**\*【第45回・第45号】2011年度(平成23年度)\***

■第45回日本美術教育研究発表会

主催：公益社団法人日本美術教育連合

日時：2011年(平成23年)10月16日(日)

場所：東京家政大学

■日本美術教育研究論集第45号 発行：2012年(平成24年)3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕(理事長)

□A群の部(理論・実践研究論文)

美術科教育におけるコンピュータ上の色彩の問題点…姉川明子(佐賀県小城市立牛津中学校)・姉川正紀(中  
村学園大学流通科学部流通科学科)

造形表現のよきや喜びを味わい直すための手だてに関する一考察

—初等教育専攻学生の図工・美術に関わる教科観を手がかりにして—…北澤俊之(東洋大学文学部教育学科)

日・英の工作・工芸教育におけるデザインの思考の育成—カリキュラム学習領域が指導に与える影響—…佐  
藤真帆(長岡造形大学)

幼児は図形を何に見立てるのか—図形の面に色を塗った場合—…島田由紀子(和洋女子大学)

子どもの美的経験における比喩的イメージの活用と課題—非命題型提案からはじまる題材実践を中心に—…  
立川泰史(東京学芸大学附属小金井小学校)

阿部七五三吉の手工教育における教科課程案の特質—昭和戦前期における手工科・作業科・実業科に着目し  
て—(東京学芸大学大学院)…平野英史

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(13)—「伝統文化」の記述と掲載作品に関する考察—…山口  
喜雄(宇都宮大学教育学部)

フランス芸術教育の現状と内容『芸術史“Histoire des Arts”』の調査から…結城孝雄(東京家政大学)

□B群の部(実践研究報告・研究ノート等)

かいてみよう背景画 アーティストとして幼稚園で行ったアートワークショップの構想と実践…木谷安憲  
(川口短期大学)

中学校美術授業における映像表現の可能性「シネリテラシーフェスタin新潟」への参加・小新アカデミー  
賞の実践を通して…甲田小知代(新潟市立潟東中学校)

図画工作科における読解力の向上を図るための授業の実践 シモーネ・マルティーニ「ガイドリッチオ騎馬  
像」を使用した鑑賞活動を通して…小林優子(茨城県守谷市立松ヶ丘小学校)

小中学校における抽象絵画指導からの一考察…相馬亮(学校法人桜の聖母学院中学校)

デジタルメディア機器を活用した図画工作科嫌いを防ぐ一考察…直井崇(慶應義塾大学大学院メディアデザ

イン研究科)

セライフィナ・レンツ (Seraphina Lenz) の『変化の工房 (Werkstatt für Veränderung)』について…中村仁美 (名古屋市立白鳥小学校)

ニューヨーク在住と九州在住の日本の児童の実態と図画工作科学習に関する考察 - 日米文化対比: 日本人の季節感という観点から - …樋口和美 (西南学院小学校)

鑑賞活動に見る子どもの発達に関する一考察…藤崎典子 (渋谷区立加計塚小学校)

□評論の部

研究論集における論文の目的と位置づけ…小林貴史 (研究論集編集委員会委員長)

■公益社団法人日本美術教育連合役員名簿: 2011年度 (平成23年度)

平成24年 (2012年) 3月現在

□理事長 宮坂元裕 (横浜国立大学名誉教授)

□理事 山口喜雄 (宇都宮大学教授)・榎原弘二郎 (埼玉大学名誉教授)・大坪圭輔 (武蔵野美術大学教授)

□事務局長・運営委員長 西村德行 (筑波大学附属小学校教諭)

□運営委員 金子一夫 (茨城大学教授)・小林貴史 (東京造形大学教授)・仲瀬律久 (聖徳大学教授)・長田謙一 (首都大学東京教授)・橋本光明 (長野県信濃美術館・東山魁夷館館長)・服部鋼資 (東京福祉大学短期大学部教授)・林 耕史 (群馬大学教授)・福本謹一 (兵庫教育大学理事・副学長)・水島尚喜 (聖心女子大学教授)・茂木一司 (群馬大学教授)

□監 事 山田一美 (東京学芸大学教授)・藤崎典子 (渋谷区立加計塚中学校教諭)

### \*【第46回・第46号】2012年度 (平成24年度)\*

■第46回日本美術教育研究発表会

主催: 公益社団法人日本美術教育連合

日時: 2012年 (平成24年) 10月14日 (日)

場所: 東京家政大学

■日本美術教育研究論集第46号 発行: 2013年 (平成25年) 3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕 (理事長)

□A群の部 (理論・実践研究論文)

色彩の時間変化と色彩感情…姉川明子 (佐賀市立昭栄中学校)・姉川正紀 (中村学園大学)

森戸辰男の美術教育観 - 思想形成の背景とその特徴 - …遠藤信也 (東京大学大学院)

テート美術館「アートへの扉」の検討 (1) - 西洋美術館におけるギャラリー・トークの相互行為分析を通して - …奥村高明 (聖徳大学)

空間認識の発達と言語力に関する一考察…小野恵 (埼玉県立越谷西特別支援学校)

「行為を起点とした」表現活動の可能性と今日的意義…北澤俊之 (東洋大学)

身体感覚を生かした鑑賞活動についての一考察 - 大きな布絵に全身でかかわる図画工作科の事例から - …立川泰史 (東京学芸大学附属小金井小学校)

近現代の美術概念と美術教育観 - モダンテクニックの受容とその応用をめぐって - …本田悟郎 (宇都宮大学)

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究 (14) - 「情報化」と美術教育に関する考察 - …山口喜雄 (宇都宮大学)

『芸術史“HiStoire des Arts”』研究 序説 フランス基礎教育の芸術教養…結城孝雄 (東京家政大学)

□B群の部 (実践研究報告)

美術教育に適した評価方法の開発を通じた学力に関する基礎的研究 (1)

－国立教育政策研究所「特定の課題に関する調査 図画工作・美術」の検証－…奥村高明（聖徳大学）・村上尚徳（環太平洋大学）・新野貴則（山梨大学）

造形教育におけるICTの活用 小学校図画工作における実践例…北川智久（筑波大学附属小学校）

図画工作・美術科における観察画についての一考察…相馬亮（桜の聖母学院中学・高等学校）

児童が使用する水彩用パレットのり・デザイン研究…直井崇（玉川大学）

外部機関との連携による図画工作の授業（1）…藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校）

知的障害児における美術科授業でのコミュニケーション行動の分析…森芸恵（筑波大学大学院）

子どもはどのように色を認識するのか 2歳児クラスの造形活動を対象として…森田浩章（東京家政大学）

□C郡の部（研究ノート）

美術表現から美術科教育研究への転換点…金子優人（宇都宮大学4年）

□評論の部

研究の持つ価値と論集の役割…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）

ロバート・セイボル博士来日講演会の記録

■公益社団法人日本美術教育連合役員名簿：2012年度（平成24年度）

平成25年（2013年）3月現在

□理事長 宮坂元裕（横浜国立大学名誉教授）

□理事 大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・山口喜雄（宇都宮大学教授）・水島尚喜（聖心女子大学教授）

□事務局長・運営委員 西村德行（筑波大学附属小学校教諭）

□運営委員 天形 健（福島大学教授）・石崎和宏（筑波大学准教授）・榎原弘二郎（埼玉大学名誉教授）・

奥村高明（聖徳大学教授）・小林貴史（東京造形大学教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・

長田謙一（首都大学東京教授）・橋本光明（長野県信濃美術館・東山魁夷館館長）・

服部鋼資（東京福祉大学短期大学部教授）・林 耕史（群馬大学教授）・

福本謹一（兵庫教育大学理事・副学長）・藤崎典子（渋谷区立加計塚小学校教諭）・

茂木一司（群馬大学教授）・山田一美（東京学芸大学教授）・結城孝雄（東京家政大学准教授）

□監 事 北川智久（筑波大学附属小学校教諭）・郡司明子（群馬大学准教授）

### \*【第47回・第47号】2013年度（平成25年度）\*

■第47回日本美術教育研究発表会

主催：公益社団法人日本美術教育連合

日時：平成25年10月20日（日）

場所：東京家政大学

■日本美術教育研究論集第47号 発行：2014年（平成26年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□A群の部（理論・実践研究論文）

米国の美術館における鑑賞教育－所蔵作品を活かしたスクールプログラムの調査結果に基づく一考察－一條  
彰子…（東京国立近代美術館）・寺島洋子（国立西洋美術館）

米国における美術館教育の潮流から学ぶ…大高幸（放送大学客員准教授）

保育者の描画観に関する一考察－生活画を中心に－…大橋麻里子（\*）

テート美術館「アートへの扉」の検討（2）－「文脈への扉」を開く鑑賞活動の試み－…奥村高明（聖徳大  
学）・飛知和朋子（さいたま市立植水小学校）

LCI「美的教育プログラム」にみる学びの可能性－国際教育者ワークショップの実際と我が国の美術教育に  
つなぐ視点－…北澤俊之（東洋大学）・小林貴史（東京造形大学）

図画工作科における表現と鑑賞を一体とする造形活動の理論化の試み－レヴィ＝ストロース芸術哲学を援用

- して―…桐田敬介（上智大学大学院生）
- 須田国太郎と美術教育―戦後期の日本における図画工作科・美術科検定教科書の作成と美術教育の状況に関する考察―…久保木健夫（千葉敬愛短期大学）
- 中学校における美術批評学習の指導に関する一考察―「記述」・「分析」の文章記述の実践をもとに―…佐藤絵里子（筑波大学大学院生）
- 色見本提示からの保育系女子学生の連想語…島田由紀子（和洋女子大学）・大神優子（和洋女子大学）
- 子どもの美的体験における比喩的イメージの活用と課題Ⅱ―発想・構想プロセスの「よる・はなれる」思考に着目して―…立川泰史（東京学芸大学附属小金井小学校）
- 日本文化を学ぶworkshopをデザインする…手塚千尋（東京福祉大学短期大学部）・佐藤真帆（千葉大学）・茂木一司（群馬大学）
- 素材論序説―素材の名の獲得に向けて―…水島ゆめ（東京藝術大学大学院生）
- 5歳児クラスの描画研究 鏡を見て自分を描く―自画像はどう変化するか―…森田浩章（東京家政大学）
- 戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（15）―「高齢化」と美術教育に関する考察―…山口喜雄（宇都宮大学）
- 韓国の新しい美術科教育課程：実践を手がかりとして…柳芝英（韓国・春川教育大学校）
- B群の部（実践研究報告）
- 美術科教育におけるMoodleをベースにした色彩学習・実験システム…姉川明子（佐賀市立昭栄中学校）・姉川正紀（中村学園大学）
- 幼児の造形素材との関わりについての一考察…小口偉（駒沢女子短期大学非常勤講師）
- 子どもの絵の世界 子ども美術展の変革を目指して…木村早苗（松山市立高浜小学校）
- 思考の連続性を促す指導・環境づくりの工夫…古鎌幸一（愛媛大学教育学部附属小学校）
- 省察的ワークシートによる主体的な学びの育成―彫塑実習における活用を通して―…三上慧（宇都宮大学非常勤講師）
- 日本の国際協力分野における美術教育―基礎教育への取組―…山田猛（東京学芸大学附属竹早中学校）
- C群の部（研究ノート）
- 豪州における芸術教育を通じた異文化理解について…小川沙弥香（東京家政大学家政学部）
- 西野範夫氏の造形遊びに関する一考察…多胡慎平（宇都宮大学大学院生）
- H・リード卿令息ベン・リード氏への面談調査をめぐって―英国リーズ大学附属図書館H・リード特別コレクション室にて―…新関伸也（滋賀大学）・天形健（福島大学）・山口喜雄（宇都宮大学）
- ニューヨークにおける在留日本人子弟の教育環境と美術教育についての報告…樋口和美（福岡教育大学大学院生）
- 評論の部
- 本研究論集の特質…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）
- 公益社団法人日本美術教育連合役員名簿：2013年度（平成25年度）
- 平成26年（2014年）3月現在
- 理事長 宮坂元裕（横浜国立大学名誉教授）
- 理事 大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・山口喜雄（宇都宮大学教授）・水島尚喜（聖心女子大学教授）
- 事務局長・運営委員 西村德行（筑波大学附属小学校）
- 運営委員 天形 健（福島大学教授）・石崎和宏（筑波大学准教授）・榎原弘二郎（埼玉大学名誉教授）・奥村高明（聖徳大学教授）・小林貴史（東京造形大学教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・長田謙一（名古屋芸術大学教授）・橋本光明（長野県信濃美術館・東山魁夷館館長）・服部鋼資（元鹿児島大学教授）・林 耕史（群馬大学教授）・福本謹一（兵庫教育大学理事・副学長）・藤崎典子（元東京都公立小・中学校教諭）・茂木一司（群馬大学教授）・山田一美（東京学芸大学教授）・結城孝雄（東京家政大学准教授）

**\*【第48回・第48号】2014年度（平成26年度）\***

■第48回日本美術教育研究発表会

主催：公益社団法人日本美術教育連合

日時：平成26年10月19日（日）

場所：東京家政大学

■日本美術教育研究論集第48号 発行：2015年（平成27年）3月31日

□目次

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□A群の部（理論・実践研究論文）

生命の力動を捉える Vitality 概念の考察－美術による協同的な表現活動を事例に－…笠原広一（福岡教育大学）

造形教育におけるユーモアの意義と可能性…北澤俊之（東洋大学）

アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成図書『父からの伝言』の教育的意義に関する考察…佐藤昌彦（北海道教育大学）

子どもの美的体験における比喩的イメージの活用と課題Ⅲ－物語を生む意味の拡張と表現様式の関係に着目して－…立川泰史（東京福祉大学）

『「教育版画」の形成と教育観について』の研究概論－大田耕士にみる版画教育と人間形成－…中條秀憲（東京家政大学大学院生）

MITATE Workshopのデザインと評価－InSEA World Congress in Melbourneでの実践を中心に－…手塚千尋（東京福祉大学短期大学部）・佐藤真帆（千葉大学）・茂木一司（群馬大学）

スペインの初等美術教育におけるCLIL教育の研究－マドリッド自治州、ガリシア自治州、カタルーニャ自治州の現状と教材開発の視点－…藤井康子（大分大学）

造形活動における知的障害児のコミュニケーション生起場面の分析－有意味発語のある児童の発話を対象として－…森芸恵（筑波大学附属大塚特別支援学校）

戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（16）－「国際化」と美術教育に関する考察－…山口喜雄（宇都宮大学）

韓国の新しい教育課題による小学校美術教科書研究…柳芝英（韓国・春川教育大学校）

□B群の部（実践研究報告）

美術科教育におけるボケと遠近法の関係…姉川明子（佐賀市立昭栄中学校）・姉川正紀（中村学園大学）

オーストラリアの美術館における鑑賞教育－所蔵作品を活かしたスクールプログラムの調査結果に基づく一考察－…一條彰子（東京国立近代美術館）・大高幸（放送大学）・岡田京子（国立教育政策研究所）・寺島洋子（国立西洋美術館）

描画に表れる空間認識力と色彩表現についての研究…小野恵（埼玉県立越谷西特別支援学校）

高等学校における外部機関等との連携による学校文化の基盤をつくる教育実践－社会とつながる美術教育の可能性を探る－…片桐彩（神奈川県立大和南高等学校）

幼稚園教員及び小学校教員を目指す学生に対して「センス・オブ・ワンダー」の理解を高める実践研究…直井崇（玉川大学非常勤講師）

幼児の「かく」「あそぶ」について－線と面についての一考察－…馬場千晶（鶴見大学短期大学部非常勤講師）

園庭の確保が難しい保育施設における「自然に親しむ保育」の一考察…森田浩章（東京家政大学）

□C群の部（研究ノート）

保育所における「造形教室」実践報告…金子優人（宇都宮大学大学院生）

歴史学習を活かした図画工作科の授業－ボックスアートの実践－…鈴木佳那（東京家政大学家政学部）

- レッジョ・エミリアアプローチから導かれる授業の提案 あつめる・そろえる・ならべる－日本の色と外国の色を感じて－…高山理子（東京家政大学家政学部）
- フランスの児童・保護者・教師の協働によってつくられた写真物語『Fugue au Pre-Lachaise パール・ラシェーヌへのフーガ』の報告…藤崎典子（\*）
- 美術教員志望生の専門的成長を促す彫刻作品鑑賞－「大田原市街かど美術館」での実践を通して－…三上慧（\*）
- 絵画鑑賞の授業構想における教科書分析と教材開発…宮田彰史（福島大学大学院生）
- アテネ（ギリシャ〈Greece〉共和国）における美術教育事情調査報告2014－第129公立小学校、インターナショナルスクールISA、国立博物館NAMでの面談調査－…山口喜雄（宇都宮大学）・新関伸也（滋賀大学）・天形健（福島大学）
- 簡単な玩具構築物の造形活動を通じた創意工夫とコミュニケーションの育成－RIDEF（フレネ教育者国際連盟）でのワークショップから－…結城孝雄（東京家政大学）
- 図画工作にかかわる教育実習の可能性－宇都宮大学教育学部附属小学校における「教育実習Ⅱ」の事前準備と実践報告－…吉澤友希（宇都宮大学教育学部）・細田すみれ（宇都宮大学教育学部）
- 日本における図画工作研究の動機と受講による理解の変化－メキシコ教員研修留学生と中国内モンゴル私費留学生の視点から－…ロサリオ [Maria del Rosario Escobar Garcia]（宇都宮大学教員研修留学生）・春林 [Shunrinn]（宇都宮大学私費留学研究生）

□ 評論の部

継続的な研究の場として…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）

■ 公益社団法人日本美術教育連合役員名簿：2014年度（平成26年度）

□ 理事長 宮坂元裕（横浜国立大学名誉教授）

□ 理事 大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・郡司明子（群馬大学准教授）・水島尚喜（聖心女子大学教授）・山口喜雄（宇都宮大学教授）

□ 事務局長 結城孝雄（東京家政大学教授）

□ 運営委員 天形 健（福島大学教授）・榎原弘二郎（埼玉大学名誉教授）・奥村高明（聖徳大学教授）・北川智久（筑波大学附属小学校教諭）・小林貴史（東京造形大学教授）・直江俊雄（筑波大学教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・長田謙一（名古屋芸術大学教授）・西村德行（東京学芸大学准教授）・橋本光明（長野県信濃美術館・東山魁夷館館長）・林 耕史（群馬大学教授）・福本謹一（兵庫教育大学理事・副学長）・藤崎典子（元東京都公立小・中学校教諭）・茂木一司（群馬大学教授）

□ 監 事 北澤俊之（東洋大学准教授）

**\*【第49回・第49号】2015年度（平成27年度）\***

■ 第49回日本美術教育研究発表会2015

主催：公益社団法人日本美術教育連合

日時：2015年（平成27年）10月18日（日）

場所：東京家政大学

■ 日本美術教育研究論集第49号 発行：2016年（平成28年）3月31日

研究論集の刊行によせて…宮坂元裕（理事長）

□ A群の部（理論・実践研究論文）

デジタルコンテンツを活用した自律的・協働的鑑賞活動（Ⅰ）－間テクスト性概念に基づくデジタル鑑賞教育の原理－…安東恭一郎（香川大学）・畑山未央（東京家政大学）

地域の子育て支援活動に参加した大学生の学び…井口眞美（実践女子大学）

空間認識の発達とボディ・イメージに関する一考察～ボディ・イメージと言語力の相関から～…小野恵（埼

- 玉県立越谷西特別支援学校)
- 身近な世界との関係を編み直すための造形教育プログラムの研究－子どものユーモアを切り口として－…北澤俊之（東洋大学）
- 造形表現活動における「見立て」と「仕立て」の構造…鮫島良一（鶴見大学短期大学部）
- 子どもの美的体験における比喩的イメージの活用と課題IV－身体経験に基づく比喩的イメージの形成－…立川泰史（東京福祉大学）
- デジタルコンテンツを活用した自律的・協働的鑑賞活動（Ⅱ）－間テキスト性概念に基づく美術鑑賞授業の試案と実践－…畑山未央（東京家政大学）・安東恭一郎（香川大学）
- 美術教育における内容言語統合型学習（CLIL）の研究－スペインの英語版初等美術教科書におけるCLILの指導法と評価について－…藤井康子（大分大学教育福祉科学部）
- 戦後の美術科教科書における掲載作品の研究（17）－「適応」と美術教育に関する考察…山口喜雄（宇都宮大学）
- 〈新しい能力〉と鑑賞教育を結ぶ実践研究－デジタルコンテンツを活用した自律的な鑑賞活動－…結城孝雄（東京家政大学）
- 韓国の2015改訂美術科教育課程考察…柳芝英（韓国・春川教育大校）
- B群の部（実践研究報告）
- 美術科教育における色彩と感情の関係～ミッフィー（うさこちゃん）の絵本を題材として～…姉川明子（佐賀市立城北中学校）・姉川正紀（中村学園大学）
- 異年齢保育における造形表現活動からの一考察…小口偉（秋草学園短期大学）
- 地域総ぐるみの公開研究保育の実践報告1-COC事業地域志向研究「松戸市における保育の表現指導の実践的研究」－…北沢昌代（聖徳大学短期大学部）
- 美術科教員養成における地域振興活動の実践－「群馬県やま・さと応援隊」の活動について－…斎江貴志（群馬大学教育学部）
- 丸シールとクレヨンによる構成あそびについて…馬場千晶（鶴見大学短期大学部非常勤講師）
- 造形批評力獲得のためのプログラム開発「旅するムサビ」の取り組みと「造形と批評」…三澤一実（武蔵野美術大学）
- 対話形式を取り入れた鑑賞の授業実践における実効性と授業改善の視点…宮田彰史（福島大学大学院生）
- きっかけがある画面から描く行為についての考察…山田佐映子（鶴見大学短期大学部非常勤講師）
- C群の部（研究ノート）
- 高学年児童の意欲を引き出す描画指導の実践－「混色指導」と「イメージの支援」を手がかりにして…黒田潤子（足立区立青井小学校）
- 創造主義を支えるシステムの顕在化－日本の美術教育におけるデューイの受容と展開－…小林貴史（東京造形大学）
- もう一つの美術教育－老人デイサービスセンターにおける造形教育－…中條秀憲（東京家政大学大学院生）
- トルコのイスタンブールにおける美術教育－ベラ美術高等学校、イスタンブール現代美術館の現地調査を通して－…新関伸也（滋賀大学）・天形健（福島大学）・山口喜雄（宇都宮大学）
- 木材の端材等を有効利用する造形用素材の開発…林耕史（群馬大学）
- ニューヨークのファミリープログラムによる在留日本人子女の教育の実際…樋口和美（福岡教育大学非常勤講師）
- 色覚特性をもつ子どもたちの抱える課題－図画工作科の授業に着目して－…日比歩（東京家政大学4年）
- 描画指導に関する指導の研究～絵の嫌いな児童たちの要因と指導法について～…松永美里（東京家政大学4年）
- 若い幼児教育者が日頃感じる「造形指導上の悩み」についての一考察…森田浩章（東京家政大学）
- 図画工作科研究主題に関する一考察－2015年関東地区国立大学法人附属小学校の研究紀要および参観に基づ

くー…吉澤友希（宇都宮大学4年）

□評論の部

研究プロセスを認め構築する機会として…小林貴史（研究論集編集委員会委員長）

■公益社団法人日本美術教育連合役員名簿：2015年度（平成27年度）

2016年（平成28年）3月現在

□理事長 宮坂元裕（横浜国立大学名誉教授）

□理事 大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）・郡司明子（群馬大学准教授）・水島尚喜（聖心女子大学教授）・  
山口喜雄（宇都宮大学教授）

□事務局長 結城孝雄（東京家政大学教授）

□運営委員 天形 健（福島大学教授）・榎原弘二郎（埼玉大学名誉教授）・奥村高明（聖徳大学教授）・  
北川智久（筑波大学附属小学校教諭）・小林貴史（東京造形大学教授）・

直江俊雄（筑波大学教授）・仲瀬律久（聖徳大学教授）・長田謙一（名古屋芸術大学教授）・

西村德行（東京学芸大学准教授）・橋本光明（長野県信濃美術館・東山魁夷館館長）・

林 耕史（群馬大学教授）・福本謹一（兵庫教育大学理事・副学長）・

藤崎典子（元東京都公立小・中学校教諭）・茂木一司（群馬大学教授）

□監 事 北澤俊之（東洋大学准教授）